

# 良導絡

## 良導絡概要1 良導絡体系

新船橋はりきゅう整骨院  
佐藤 秀治

新船橋はりきゅう整骨院  
佐藤 秀治

# 故中谷義雄博士の略歴

大正12年（1923）8月19日誕生（和歌山県橋本）

昭和20年（1945）岩手医学専門学校卒業（22歳）

昭和21年（1946）開業（和歌山県高野口）

昭和25年（1950）春頃 良導絡発見

昭和27年（1952）京都大学化学研究所入所

昭和29年（1954）京都大学生理学教室入所

**（笹川九吾博士の指導の下良導絡の基礎研究を始める）**

昭和32年（1957）学位取得「皮膚通電抵抗と良導絡」 良導絡学会を設立（副会長）

昭和38年（1963）関西鍼灸柔整専門学校生理学講師

昭和42年（1967）大阪医科大学麻酔科ペインクリニック非常勤講師

昭和43年（1968）日本良導絡自律神経学会副会長

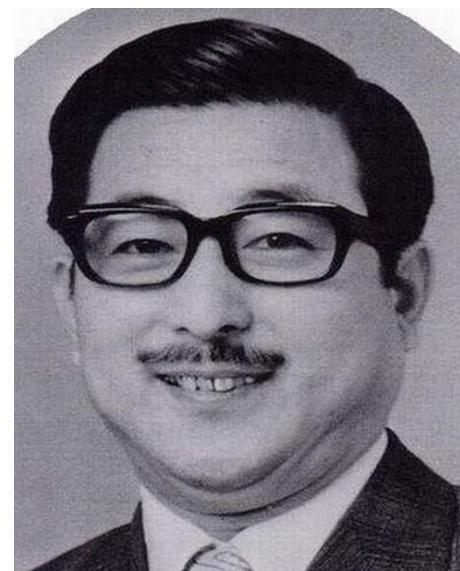
日本鍼灸良導絡医学会名誉会長

昭和53年（1978）3月3日17時30分 膀胱腫瘍で逝去（54歳）

北区北野病院

新船橋はりきゅう整骨院

佐藤 秀治



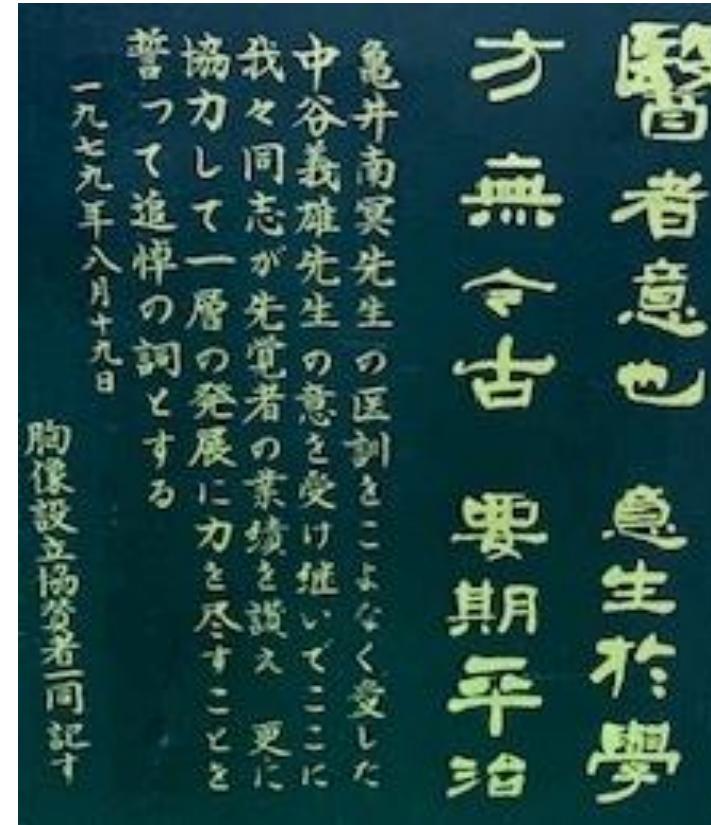
中谷義雄先生

# 中谷先生は江戸時代の儒者名医 亀井南冥先生の医訓をこよなく愛した



2012年（平成24年）胸像お披露目式  
日本良導絡自律神経学会東日本支部  
500回記念特別研修会にて

新船橋はりきゅう整骨院  
佐藤 秀治



医は意なり、意は学より  
生ず、  
方は古今（ここん）なし、治を期するを要す

医学とはいろいろなことを知ることである  
いろいろなことを知るためにには  
勉強をしなくてはいけない  
治療方法に今も昔も無い  
患者さんの必要としていることは  
治することである



亀井南冥先生

中谷先生は当初風邪をすぐ治せる名医を目指してました。  
傷寒論から古典へと勉強を進められ良導絡理論を構築されました

## ノイロメーターの発見

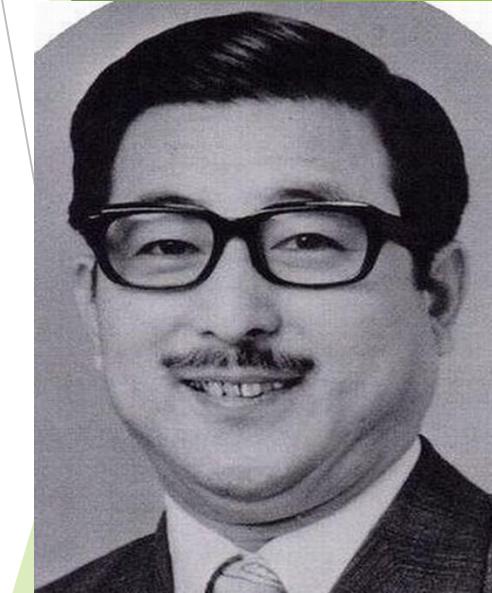
大阪の高島屋百貨店の薬売り場で、亜鉛と銅との異種金属導子による活力測定器を用いてテツフンという増血剤の販売店員に出会い、測定器を入手したのがきっかけで、良導絡測定器（ノイロメーター）を作られました。

## 良導絡の発見

昭和25年（1950）の春、たまたま腎臓炎（ネフローゼ）の患者は全身がズクズク腫れて、水分が多く電気が通りやすいのではないかと、全身くまなく電気抵抗を調べたら、

鍼灸の古典でいう腎経の形に電気の通りやすい筋（スジ）を発見したのが最初で、その後肺経、心経、胃経等

調べたら古典の経絡に相似しておりました。この1つの電気の通りやすい部位がツボに相当し、一定の型に並んだのが良導絡です。



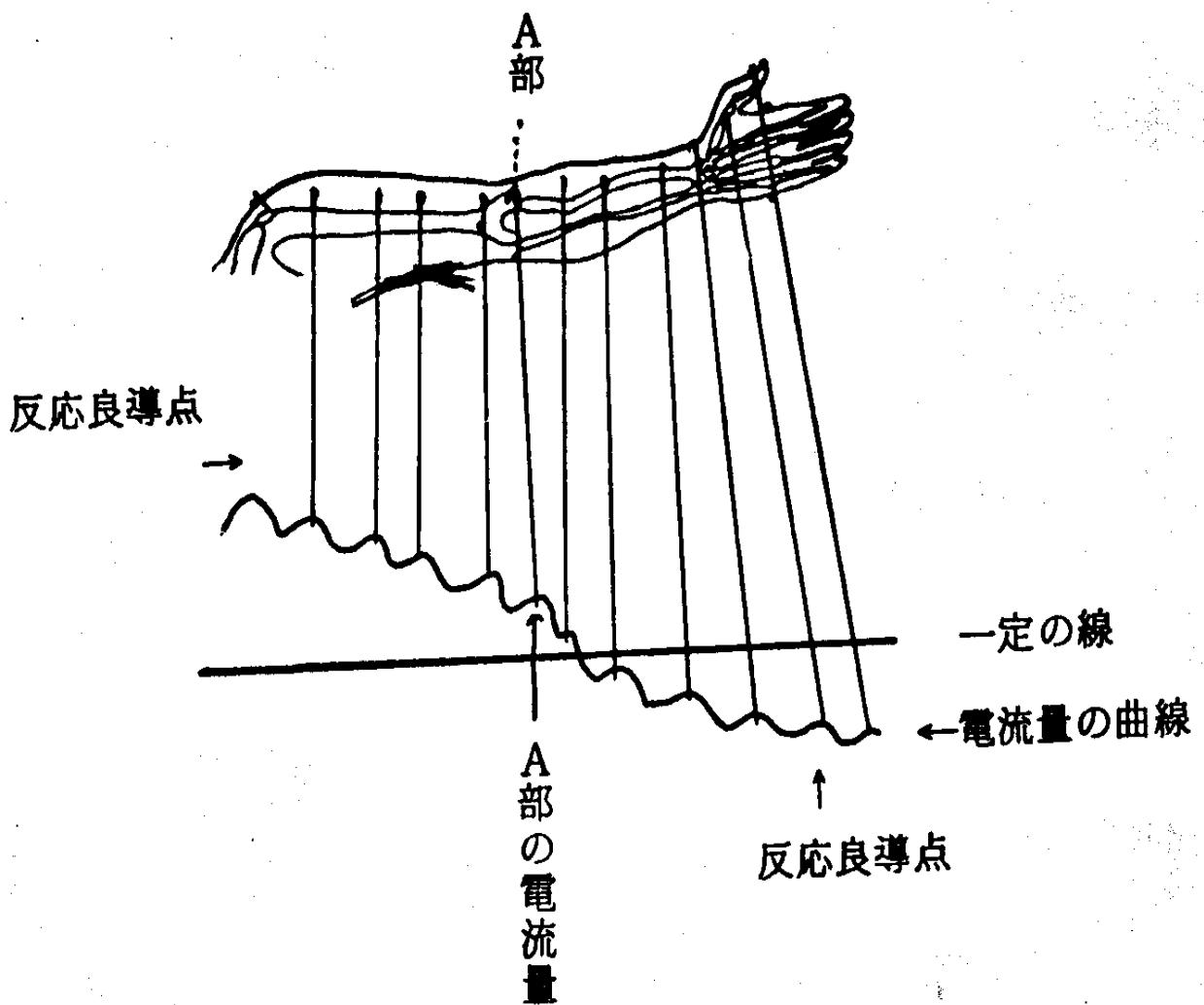
新船橋はりきゅう整骨院  
佐藤 秀治

# 良導絡 定義 1

良導絡とは、主に病態の体表に現れる「電気の良く導かれる特定の部位の連絡の系統」をいいます。

すなわち、非生理的な病的現象として出現する“反応良導点”が、機能的なつながりとして、特定の形に現れたものを“良導絡”といいます

## 上肢良導絡の発現模式図

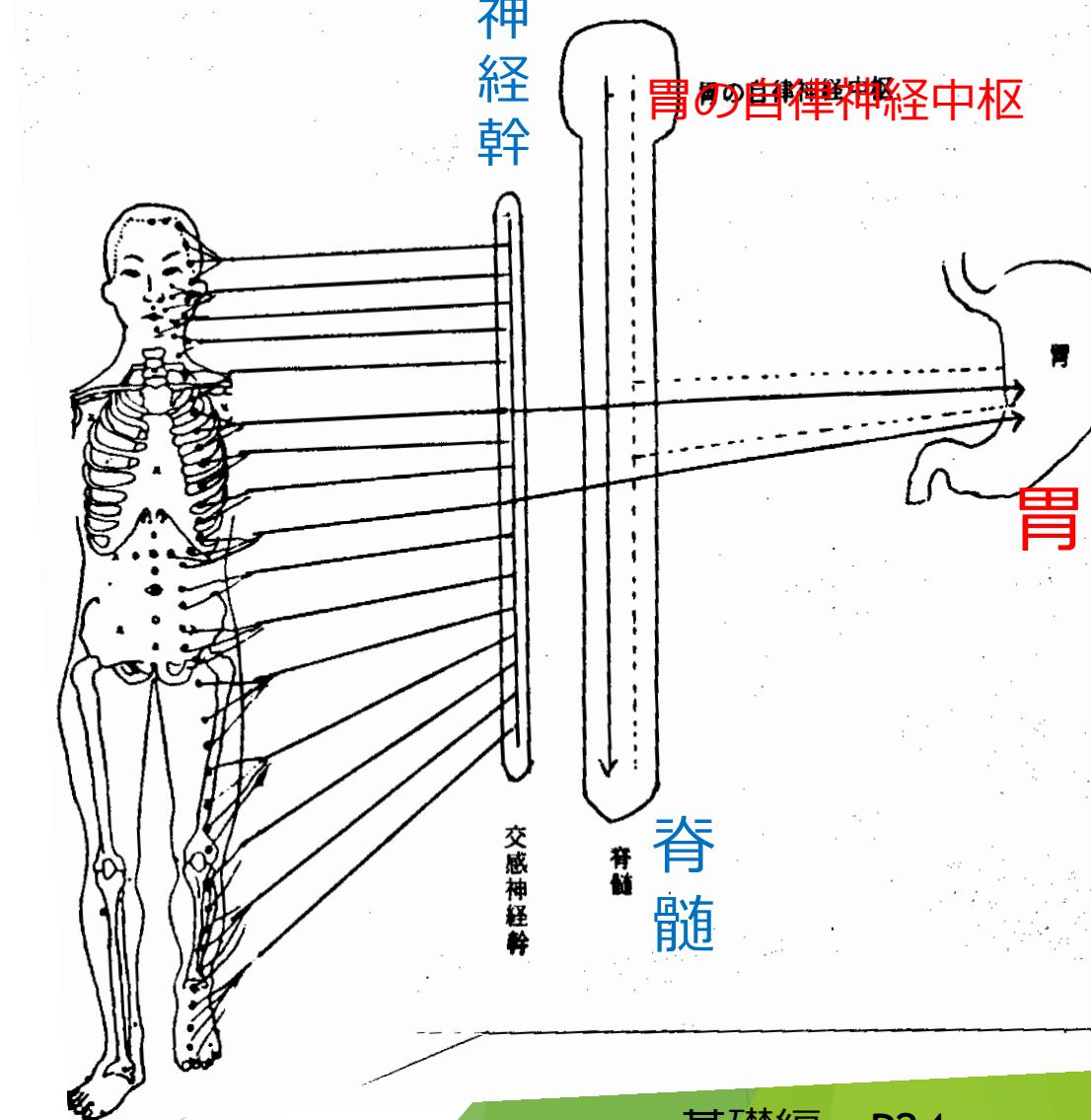


# 良導絡 定義 2

## F6良導絡の発現模式図

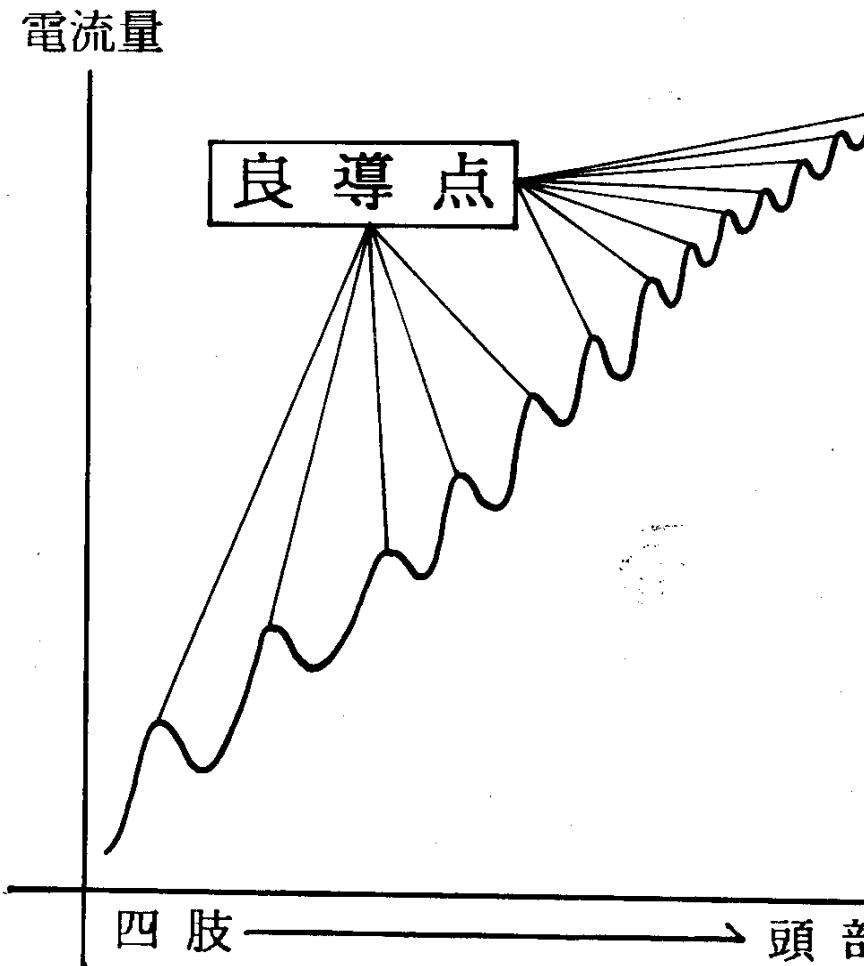
良導絡は**反応と治療**の系統です

交感神経の異常興奮によって現れる**“病的現象”**とされています。  
異常良導絡上に適刺激を与えると、  
その良導絡上にある  
**器官や組織、関連のある内臓疾患**  
に治療効果が現れます

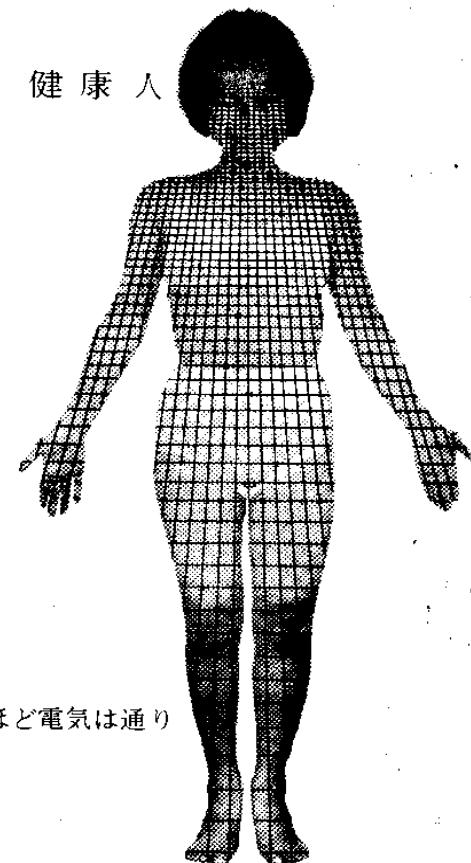


# 良導点とは

良導点の出現模式図



## 生理的現象



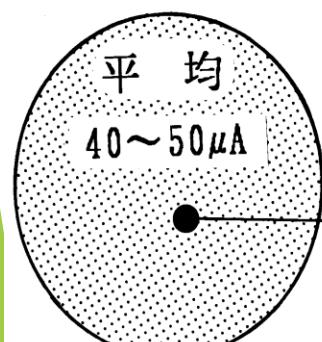
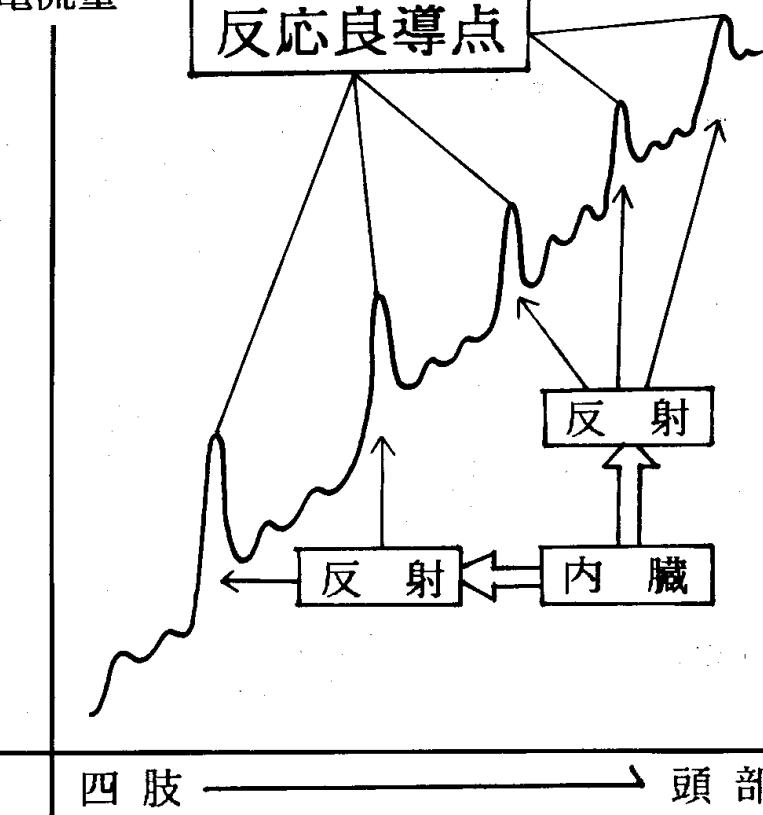
ノイロメーターの電圧を21V (200μA)で検出された電気のよく流れる点、「電気がよく導かれる点」を良導点という

特徴として身体の上部は電気が流れやすく、四肢末梢は流れにくい  
手掌や足底は多少流れやすい

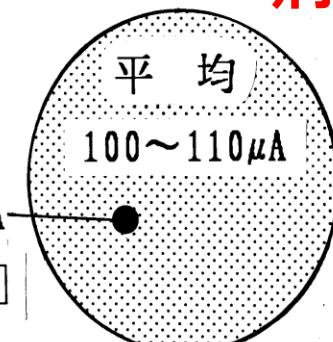
**良導点**は、環境や時間経過で変化する傾向がある。

電流量

反応良導点



手足など



顔面・首筋など

# 反応良導点とは 非生理的現象

ノイロメーターの電圧を12V (200μA)、  
6V (200μA) で顕著に出現する良導点を  
**反応良導点**といいます

内臓やその他の疾患による様々な反射機構を介して、  
皮膚体表の交感神経が興奮し、  
低い電圧でも電気が良く流れるようになった  
**病的な部位 (内蔵-皮膚反射)**

# 体系図

## 良導絡自律神経調整療法

Ryodoraku Therapy of Autonomic Nerve System

[ I ]全身・慢性・本治法

Systemic・Chronic・Fundamental treatment

[ II ]局所・急性・標治法

Localization・Acute・Branch treatment

### 全良導絡調整療法

General Regulation Therapy of Ryodoraku

①

### 代表測定点の測定

Measurement of Ryodoraku representative measuring points

②

### 良導絡チャトによる診断

Diagnosis of Ryodoraku Chart

1)良導絡症候群

Ryodoraku syndrome

2)チャトのパターン分類

Pattern analysis of chart

3)その他 the others

③

### 全良導絡調整治療

General Regulatory Treatment of the total Ryodoraku(GRT)

1)興奮点・抑制点治療

Treatment of tonification and sedation points

2)基本(調整)治療点 I ~ V型

Basic RegulatingTherapy

### 反応良導点治療

Reactive Electro Conductive Point Therapy

### 反応良導点の探索

Search of RECP

### 反応良導点治療

treatment of RECP

患部・反対側・誘導点

Responsive point

back,front,guide point

腰背部・胸腹部

Waist & Back,breast

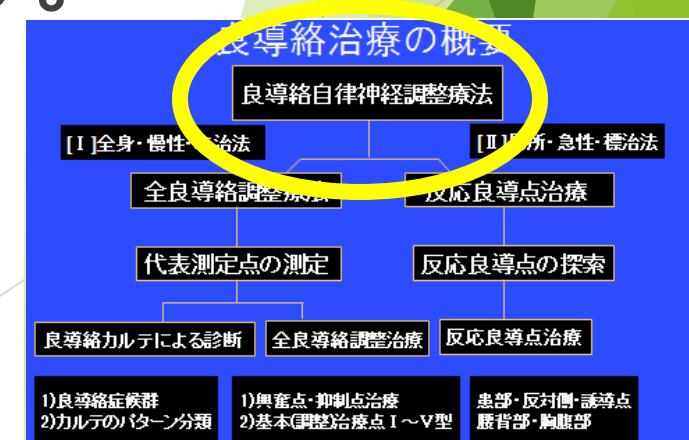
& abdomen

# 良導絡自律神経調整療法とは？

▶良導絡自律神経調整療法とは、**良導絡理論**に基づく診断並びに治療法をいいます。

▶皮膚通電抵抗を指標として、**自律神経(交感神経)系**の状態を調べ、相対的な身体のバランスの変動を検出して統計的に評価する事により、身体の状態を把握でき治療方針をたて、疾病の治癒や健康増進に役立てる治療法です。

▶さらに**治療効果判定**も出来ます。

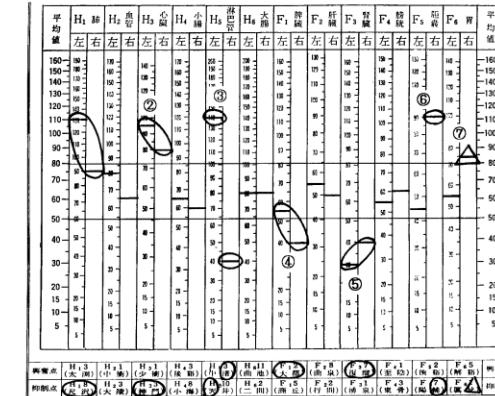


# 全良導絡調整療法

基礎編 P60

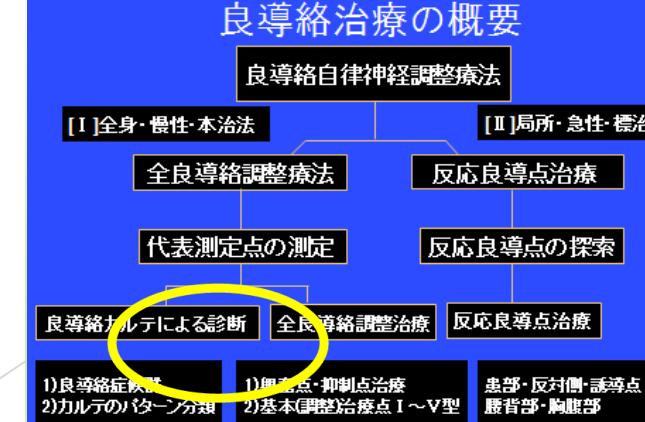
全良導絡調整療法とは、古典でいう“本治法”であり根本的な治療法です。

各良導絡（24系）の代表測定点を測定し  
興奮性した電流量を数値化し  
良導絡専用カルテにプロットしていきます。



さらにそれを評価しカルテ上の生理的範囲から逸脱した  
異常良導絡に適刺激を与えて、全良導絡の興奮性を調整する方法が  
「全良導絡調整療法」であります。

異常良導絡の調整とは体表刺激による交感神経の調整であり、  
その刺激は中枢にまで影響を及ぼし、神経機能反射機転で内臓に  
分布する自律神経も調整されます。 (体性-自律神経反射)



すなわち「良導絡自律神経調整療法」であるといえます。

新船橋はりきゅう整骨院  
佐藤 秀治

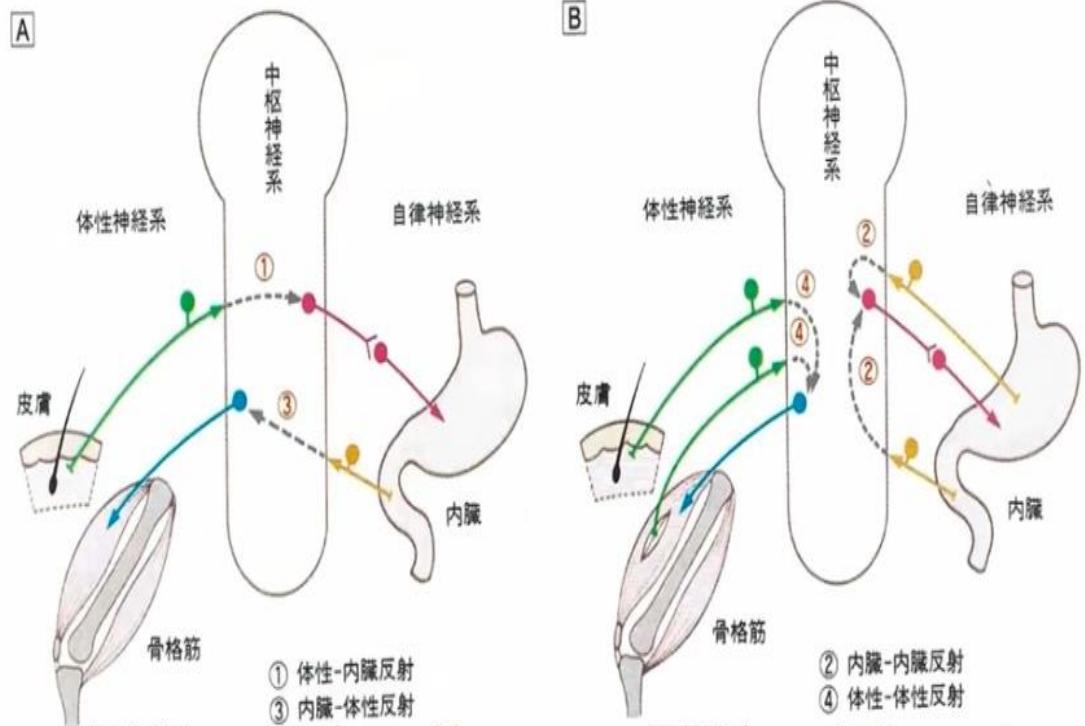
# 人体の生理学的反応 《メカニズム》

## 【良導絡と関係ある自律神経反射】

内蔵一皮膚反射 (反応良導点)

内蔵一体性反射 (筋性防御)

体性一内蔵反射 (治療機転)



# 体性- (内臓) 自律神経反射

生体に加えられた刺激はこれらの種々の感覚として意識にのぼり、行動や感情、思考さまざまな影響を与えると同時に、自律神経に様々な**反射性反応**を引き起こします

## 1. 脊髄反射

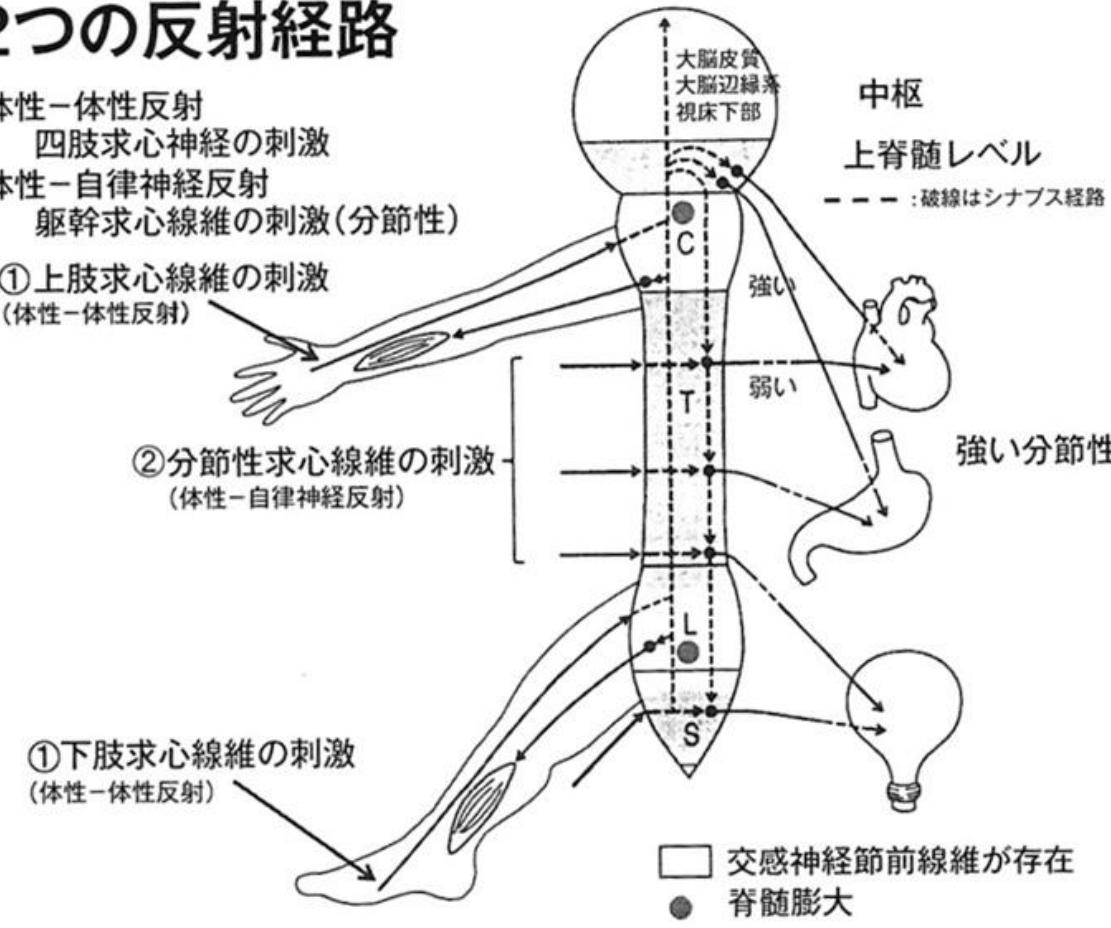
体性求心性神経の脊髄への入力レベルと自律神経の脊髄からの出力レベルが同じ水準にあるときに起こりやすい

## 2. 上脊髄反射

手足への刺激の場合、求心性入力は上行して、脳幹で統合されて自律神経を介して全身性の内臓反射を起こすことが多い

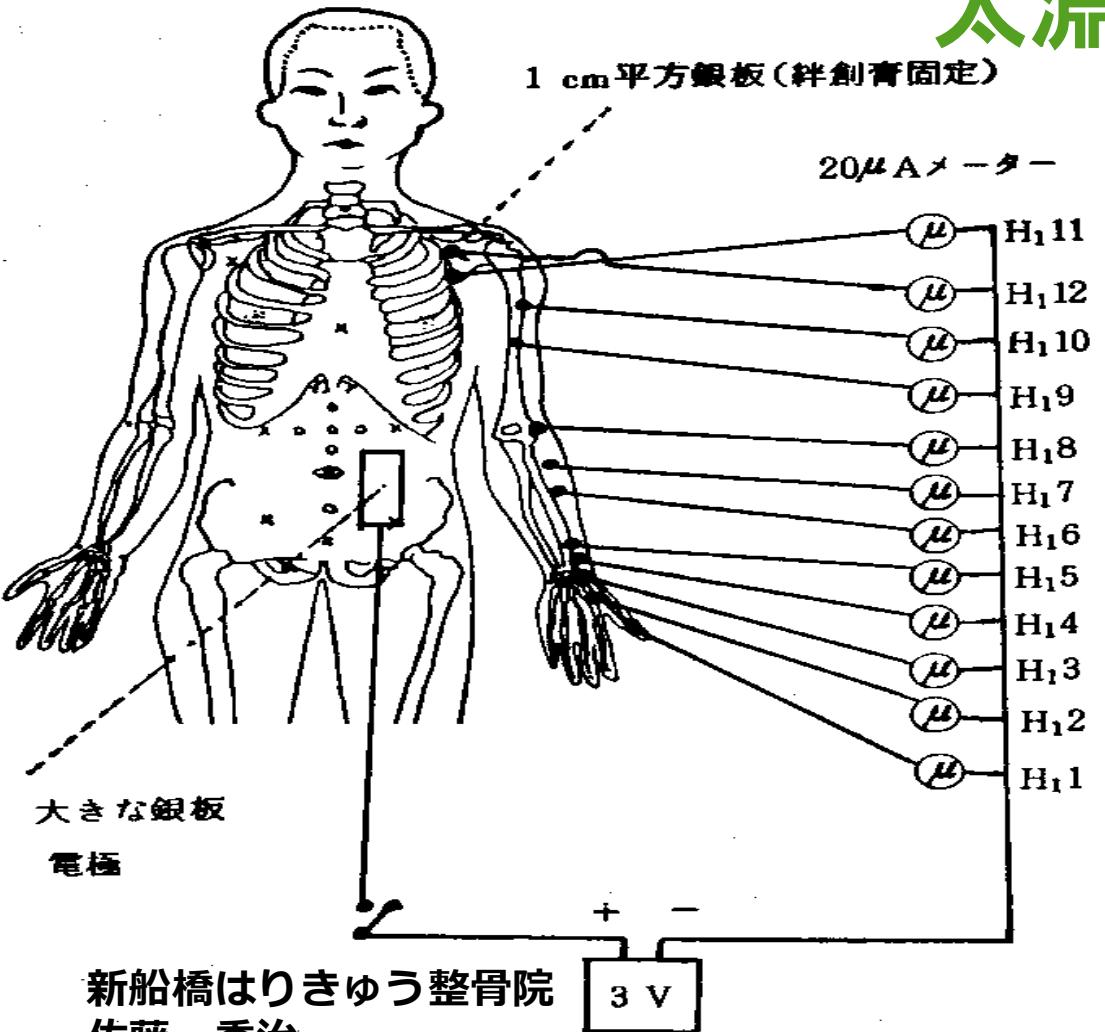
## 2つの反射経路

- ①体性-体性反射  
四肢求心神経の刺激
- ②体性-自律神経反射  
躯幹求心線維の刺激(分節性)
- ①上肢求心線維の刺激  
(体性-体性反射)
- ②分節性求心線維の刺激  
(体性-自律神経反射)



# 代表測定点定義

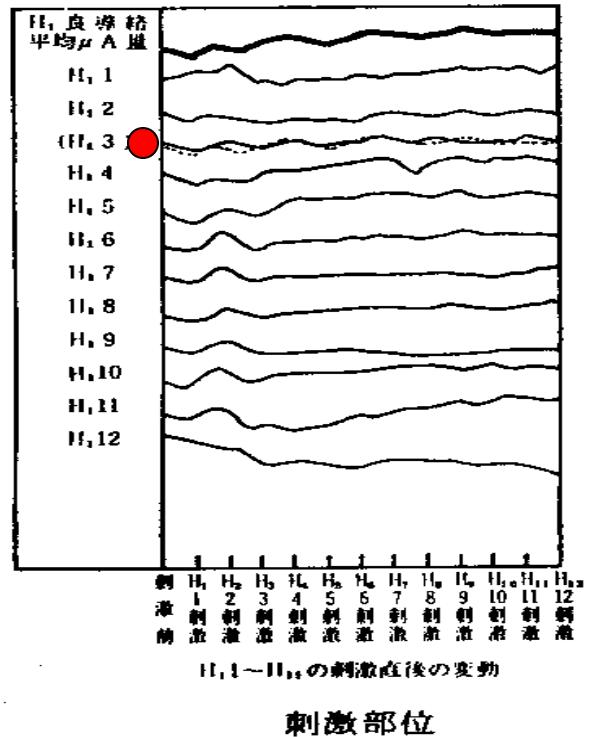
# 太淵



### H<sub>1</sub>～H<sub>12</sub>の合計平均

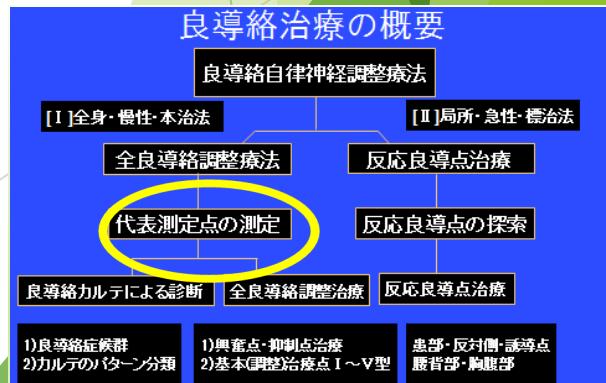
(H<sub>13</sub>)が合計平均のグラフと最もよく似ている。

それで  $H_13$  を  $H_1$  良導絡の代表測定点と名づけた。



各良導絡の代表的な  
反応良導点を12ヶ所  
選び体表に与える  
刺激によって変化す  
る電流量を順次求め、  
全体の平均グラフの  
変動と相似的（類す  
る）な変動を示す良  
導点

基礎編 P29

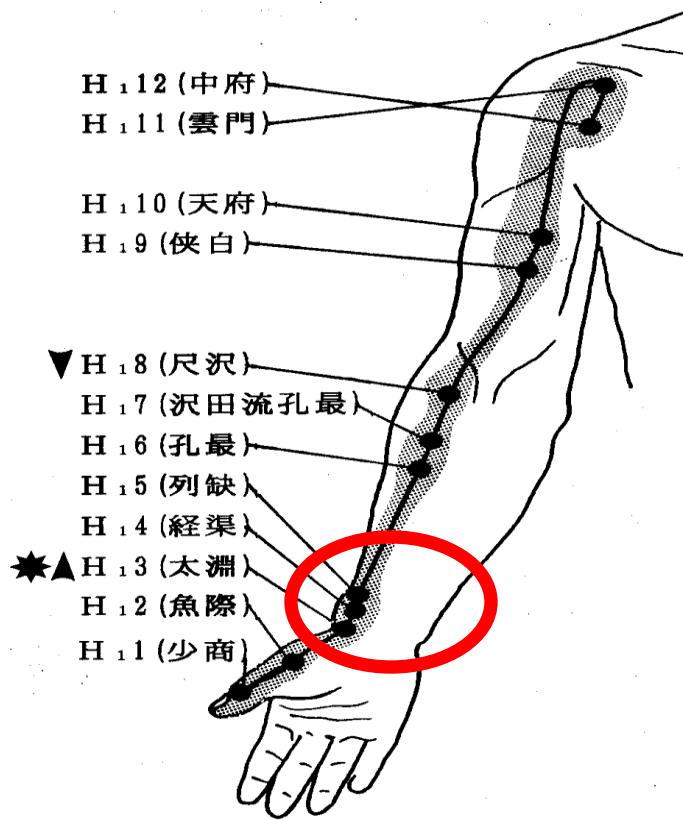


# 実験方法

12カ所の反応良導点の電流量を同時に測定できる測定器を用いて、次のように実験を行いました。

- a. 1cm角の銀板の電極に食塩糊をつけて、良導絡上の12カ所の反応良導点に貼付固定します。
- b. 3×8cm角の銀板の電極に食塩糊をつけて、身体の平面な部位に固定します。
- c. 電圧は3Vで200μAの条件で、被験者の身体の様々な部位に、種々の刺激を12回与え、その刺激毎に12個のメーターの電流量を記録します。  
各反応良導点の電流量は、刺激を与えるたびに、それぞれ異なった変化を示します。
- d. 電流量の変化をグラフ化します。
- e. 次に、各反応良導点の12回の刺激後の電流量の平均を求め、その良導絡の平均変動グラフとして表します。
- f. そして、平均変動グラフと各反応良導点の電流量変動グラフとを比較対照して、平均変動グラフと相似的な変動グラフを示す反応良導点を探しました。

# H 1(肺)良導絡



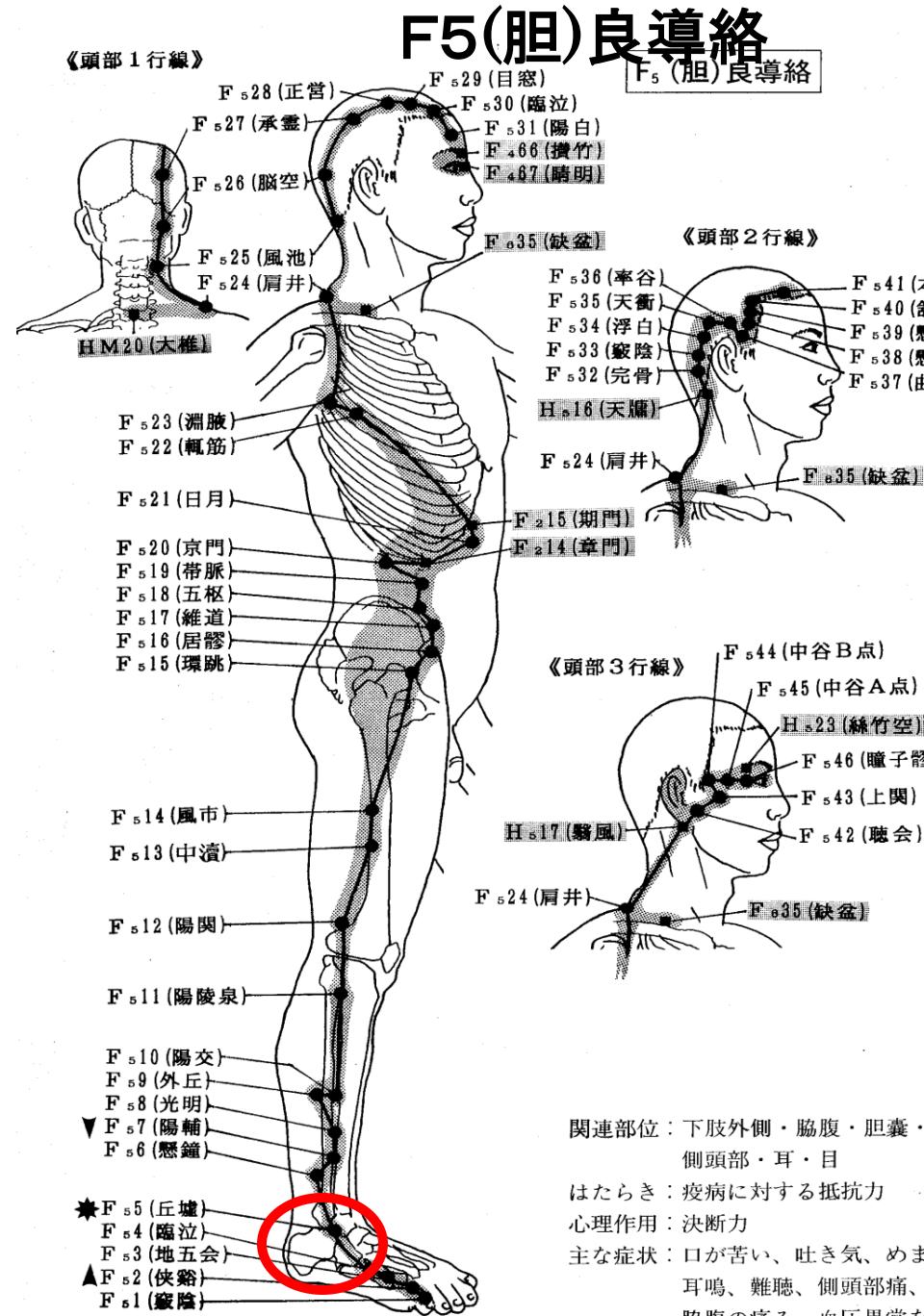
関連部位：肺・鼻・皮膚・大腸・

手首・肘・肩

はたらき：呼吸、発汗

心理作用：悲しむ、なげく、  
うれえる、思い悩む

主な症状：呼吸器症状、胸苦しい、  
皮膚の異常、肩凝り、  
手の冷えやしひれ、  
痔など



関連部位：下肢外側・脇腹・胆囊・  
側頭部・耳・目

はたらき：疫病に対する抵抗力

心理作用：決断力

主な症状：口が苦い、吐き気、めまい、  
耳鳴、難聴、側頭部痛、  
脇腹の痛み、血圧異常など

代表測定点の臨床的な説明として

各良導絡のツボの電気抵抗減弱部  
(交感神経興奮度) を調べてみると  
平均が手首や足首回りに出ます  
ですから手首足首まわりを測る事で  
交感神経(自律神経)の状態を数値化する事が出来ます

# 代表測定点図

基礎編P46

挟んだ指の  
内側(橈側)

挟んだ指の  
線上の中央

H<sub>2</sub>

H<sub>1</sub> H<sub>3</sub>  
挟んだ指の  
内側(尺側)

内果の頂点と踵の先端  
部を結んだ線上で、  
中央よりやや上の内果  
の外縁と交わる陥凹部

尺骨基状突起  
の前下方陥中

尺骨基状突起

長母指伸筋腱  
短母指伸筋腱

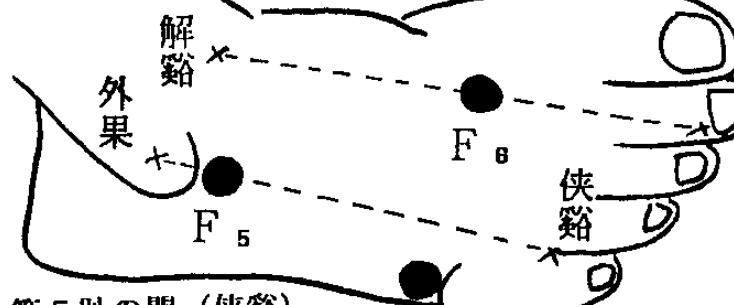
H<sub>4</sub>

H<sub>5</sub> H<sub>6</sub>  
中央線に測定導子  
の外縁が接する  
尺側部位

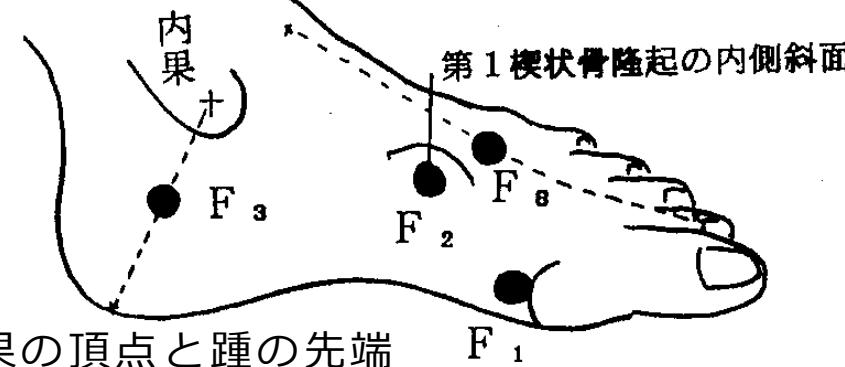
挟んだ指の  
内側(橈側)  
腱間の陽谿  
穴の部位で  
はない。

第4趾と第5趾の間(俠谿)  
と外果の頂点を結ぶ線上で、  
外くるぶしの隆起の前下方。

第2趾外側爪甲根部と  
足関節中央(解谿穴)  
とを結ぶ線上の中央



第5指中足指節関節隆起の後



第1楔状骨隆起の内側斜面

F<sub>1</sub>  
第1中足指節関節隆起の後

## 良導絡治療の概要

### 良導絡自律神経調整療法

[I]全身・慢性・本治法

[II]局所・急性・標治法

全良導絡調整療法

反応良導点治療

代表測定点の測定

反応良導点の探索

良導絡カルテによる診断

全良導絡調整治療

反応良導点治療

1)良導絡症候群  
2)カルテのパターン分類

1)興奮点・抑制点治療  
2)基本調整治療点I～V型

患部・反対側・誘導部

# カルテの作成過程

平均 値	H <sub>1</sub> 肺		H <sub>2</sub> 血管		H <sub>3</sub> 心臓		H <sub>4</sub> 小腸		H <sub>5</sub> 淋巴管		H <sub>6</sub> 大腸		F <sub>1</sub> 脾臓		F <sub>2</sub> 肝臓		F <sub>3</sub> 腎臓		F <sub>4</sub> 膀胱		F <sub>5</sub> 胆囊		F <sub>6</sub> 胃		平均 値
	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	
160	130	170	140	170	200	230	160	130	160	120	150	140	130	120	110	130	120	110	130	120	110	130	120	110	160
150	180	160	130	160	190	180	150	130	150	140	130	120	130	120	110	130	120	110	130	120	110	130	120	110	150
140	170	150	130	150	180	190	170	150	150	140	130	120	130	120	110	130	120	110	130	120	110	130	120	110	140
130	160	140	120	140	170	180	160	140	160	130	130	120	130	120	110	130	120	110	130	120	110	130	120	110	130
120	140	130	110	130	150	170	160	140	150	140	130	120	130	120	110	130	120	110	130	120	110	130	120	110	120
110	130	120	100	120	140	140	130	110	130	110	110	100	110	100	90	110	100	90	110	100	90	110	100	90	110
100	120	110	90	110	120	130	130	120	120	120	110	100	110	100	80	100	90	80	100	90	80	100	90	80	100
90	110	100	80	100	110	120	120	110	110	110	90	70	90	70	70	90	70	70	90	70	70	90	70	70	90
80	100	90	90	90	100	100	100	90	90	90	70	60	80	60	60	80	60	60	80	60	60	80	60	60	80
70	90	80	70	80	90	90	90	80	80	80	60	70	80	70	60	80	70	60	80	70	60	80	70	60	70
60	80	70	60	70	80	80	80	70	70	70	50	60	70	60	50	70	60	50	70	60	50	70	60	50	60
50	70	60	50	60	70	70	70	60	60	60	50	40	60	50	40	60	50	40	60	50	40	60	50	40	50
40	60	50	40	50	60	60	60	50	50	50	40	30	50	40	30	50	40	30	50	40	30	50	40	30	40
30	50	40	30	40	50	50	50	40	40	40	30	20	50	40	30	50	40	30	50	40	30	50	40	30	30
20	40	30	20	30	40	40	40	30	30	30	20	15	40	30	20	40	30	20	40	30	20	40	30	20	20
15	20	15	15	15	20	20	20	15	15	15	10	10	20	15	10	20	15	10	20	15	10	20	15	10	15
10	15	10	10	10	15	15	15	10	10	10	5	5	10	10	5	10	10	5	10	10	5	10	10	5	10
5	10	5	5	5	10	10	10	5	5	5	5	5	10	5	5	10	5	5	10	5	5	10	5	5	5

カルテにおける数値の並びを見ると、ズレのあることが分かります。これは、全良導絡の平均電流量と各良導絡の平均電流量がそれぞれ異なるため修正を加えてあります。

また平均電流量が低い場合はバラツキが少なく、反対に高い場合はバラツキが大きくなる傾向があるので各数値間において下は幅広く上は幅狭く修正をくわえてます

例えば各良導絡を人にたとえ12人に酒を飲まして何杯で酔うか実験してみる、1杯で酔う人や3杯で酔う人5杯で酔う人様々です、12人が酔ったところを全体の平均とし各杯数を修正したと考えると理解しやすい

## a. 春季における健康成人350名のデータ

春季における健康成人350名の代表測定点を測定して、各良導絡のいわゆる健康人の平均電流量を求めました。次に、全良導絡の電流量の平均値を求めるとき40 $\mu$ Aであり、各良導絡の平均電流量との差を修正値と名づけました。上図のカルテで分かることおり、各良導絡の平均電流量が全良導絡の平均値40 $\mu$ Aの高さで並ぶように修正が加えられています。すなわち、この平均40 $\mu$ Aの高さに各良導絡の測定値が並べば理想的な健康人ということになります。これを基準にして、患者について各良導絡が40 $\mu$ Aより高い時、低い時にどのような症状が何%あるかの統計を取り、健康状態と病的状態との比較に用い、患者に当てはめて症状を調べてみると、不問診が良く当たったわけです。

## b. 夏季における健康人50名のデータ

ところが、ある時期から次第に不問診が当たらなくなつたので、その原因を調べたところ、気温が高くなり平均電流量も高くなつたため、40 $\mu$ Aでの修正値では病的状態をとらえることが困難となつてきました。

そこで、気温が高くなる夏季に、春季と同様の実験を行なつた中から、平均値が80 $\mu$ Aになる50名のデータを集め、各良導絡の平均電流量を求めるとき、前回の場合と比較して約2倍の数値となる結果が得られました。すなわち、平均値の数値が2倍になれば、代表測定点の電流量も2倍になるということは、修正値も約2倍にすれば良いことになります。

以上の実験に基づいて、各良導絡の平均電流量に修正を加え、最も簡単に健康人と病人とを比較して異常を見い出せるカルテを製作したのが、現在使用されている“良導絡専用カルテ”であります。

また、平均電流量が低い場合はバラツキが少なく、**反対に高い場合にはバラツキが大きくなる傾向**があるので、異常良導絡を出す際に用いる、1.4cm幅の専用スケールで生理的範囲を求めやすくするために、各数値間において**下は幅広く、上は幅を狭く算術的に修正を加えてあります。**

良導絡専用カルテでは、いわゆる健康人のデータから得られた平均値によって、様々な修正が加えられて、それぞれの高さが求められているので、年齢や季節に関係なく、測定した結果がほぼ真横に並べば、いわゆる健康人の統計的電流量となります。

しかし、実際には健康人のを測定しても真横に並ぶことはなく、かなりのバラツキが生じます。これは、個体差や日常生活動作において種々の影響を受けることによる、生理的な電流量の変動が生じるためと考えています。

# ノイロメーターについて

## ロイヤルエイトの全景と名称

A DC200μAメータ

B 電流調節ボリューム

C 音量切り替えスイッチ

D 電圧切替スイッチ

E 握り導子用ジャック

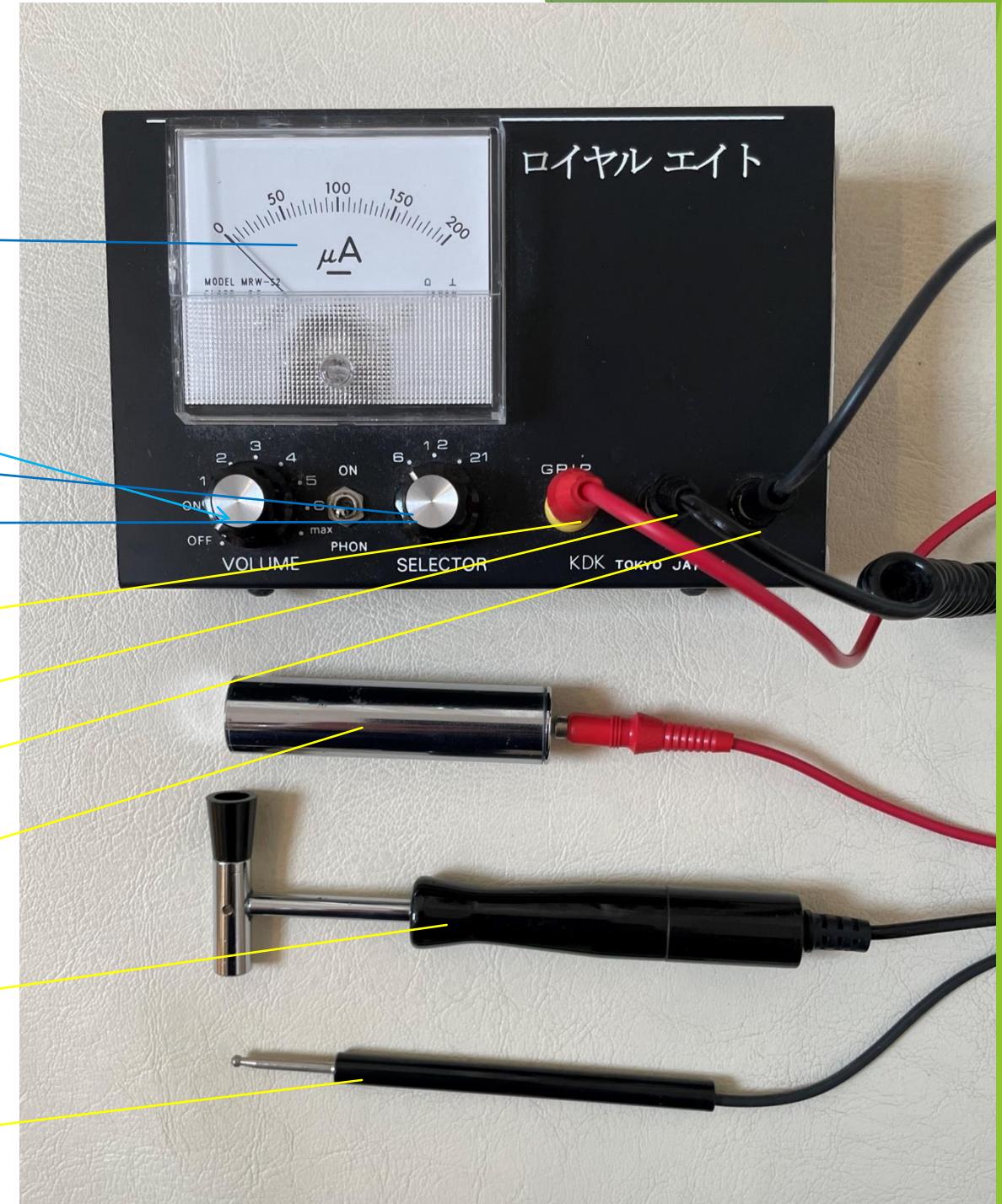
F 測定導子用ジャック

G 探索導子用ジャック

イ 握り導子

ロ 測定導子

ハ 耳探索導子



# 良導絡と経絡の相違点

良導絡治療は、鍼灸の科学的裏づけとかで、証明しているといわれていますが、鍼灸理論をそのまま裏づけしたものではなく、西洋医学的な根拠をもとに、異なった面から研究したものが、たまたま結論的に同じ所に到達しました。

鍼灸での経絡経穴学説では、“ツボ”的な機能的なつながりを示すものとして“経”を、臓腑とのつながりとして“絡”を想定しています。  
経絡という用語には、生理学的な現象以外に、“気の流れ”といった概念的な、また自然哲学的な要素を含んでいます。

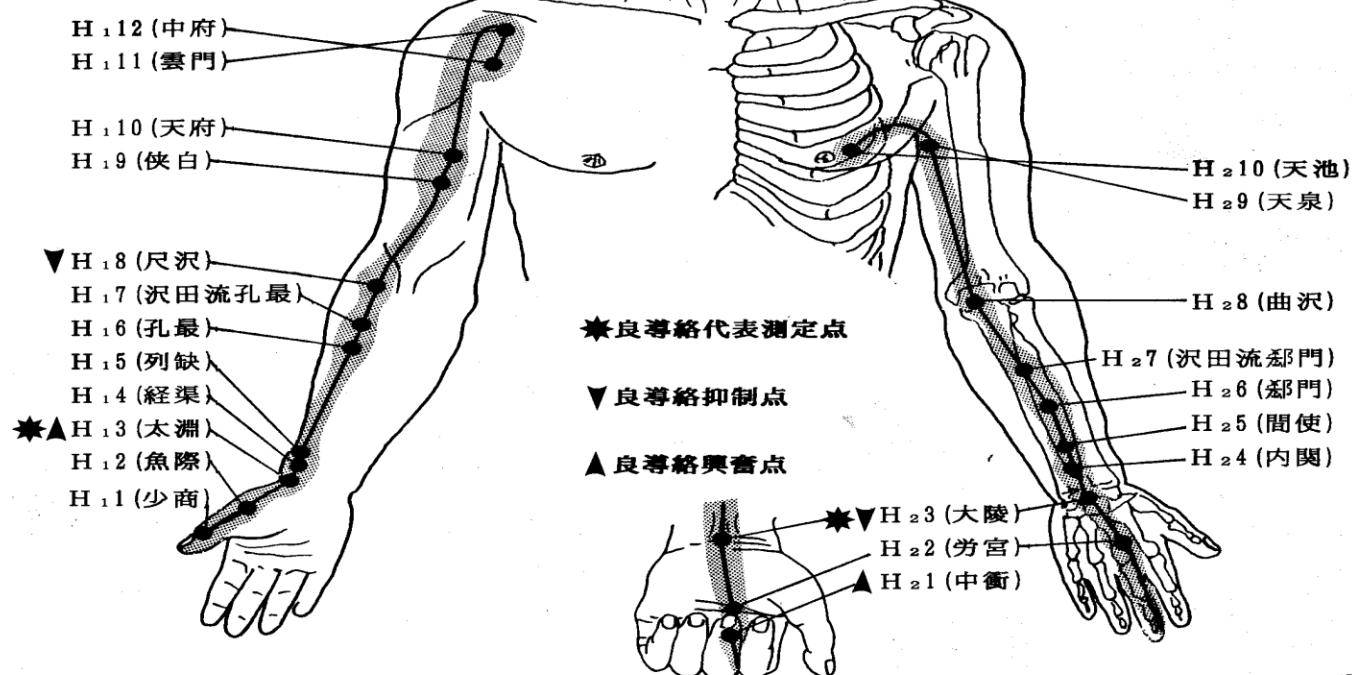
良導絡自律神経調整療法においては、反応良導点の機能的なつながりを示すものとして“良導絡”という名称を持つ交感神経系の機能を想定しています。したがって当然よく似た現象が現れたり、ある程度異なる結果もあります。また経絡の有する生理学的要素が良導絡で、良導絡に自然哲学的要素を加えると経絡になるという考え方もできる

# 良導絡図

## H 1(肺)良導絡



新船橋はりきゅう整骨院  
佐藤 秀治



関連部位：肺・鼻・皮膚・大腸・  
手首・肘・肩  
はたらき：呼吸、発汗  
心理作用：悲しむ、なげく、  
うれえる、思い悩む  
主な症状：呼吸器症状、胸苦しい、  
皮膚の異常、肩凝り、  
手の冷えやしびれ、  
痔など

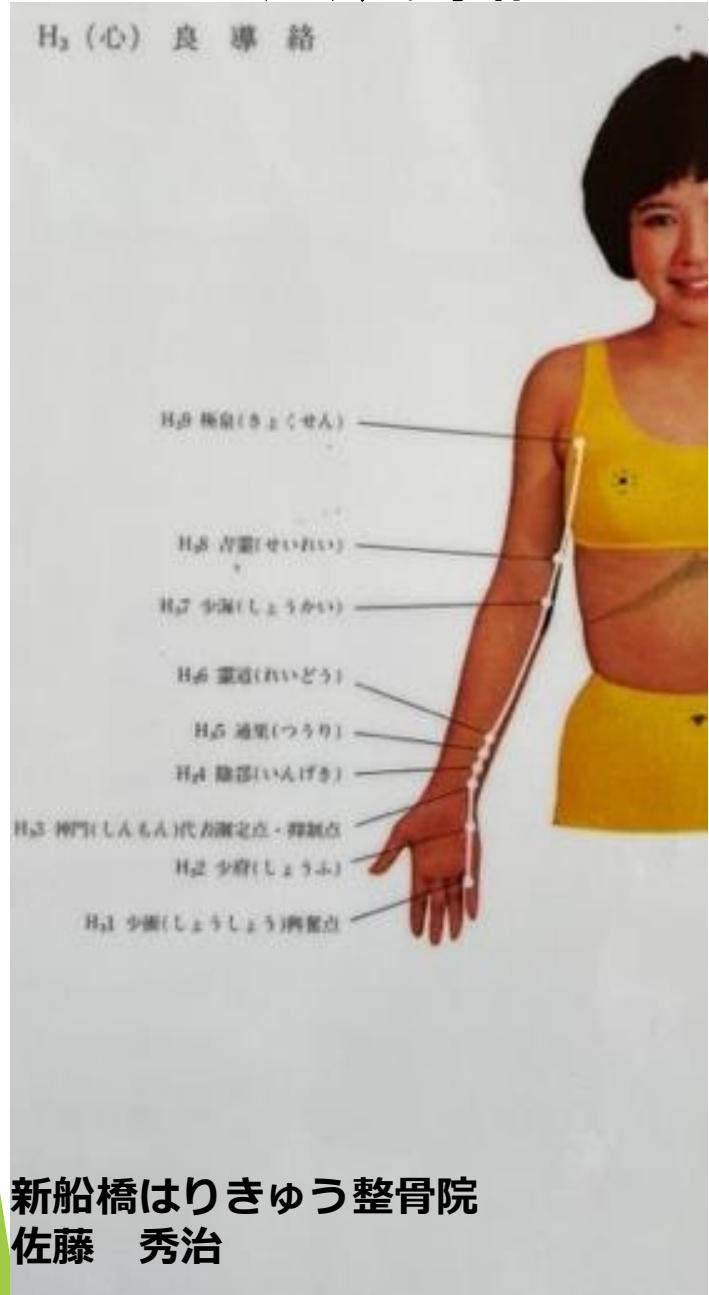
関連部位：心臓・手掌・前腕正中・  
腋窩・胸部  
はたらき：血液の循環  
心理作用：H 3良導絡と同じ  
主な症状：心臓症状、肩凝り、  
五十肩、上腕神経痛、  
手足の痙攣、  
手掌・顔面の異常など



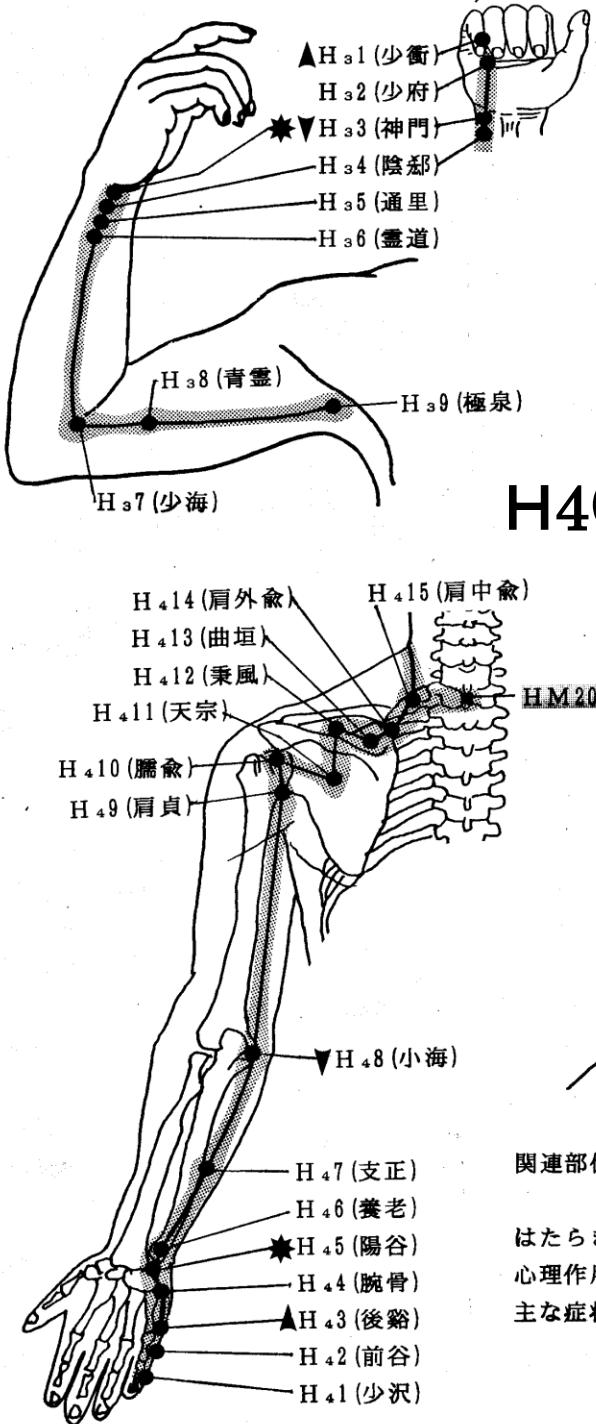
基礎編

# H3(心)良導絡

H3 (心) 良導絡



新船橋はりきゅう整骨院  
佐藤 秀治



関連部位：脳・舌・毛・目・

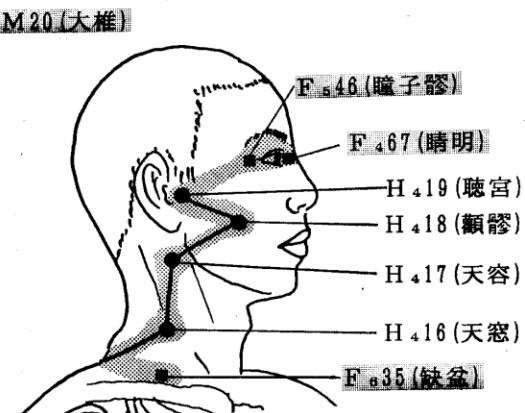
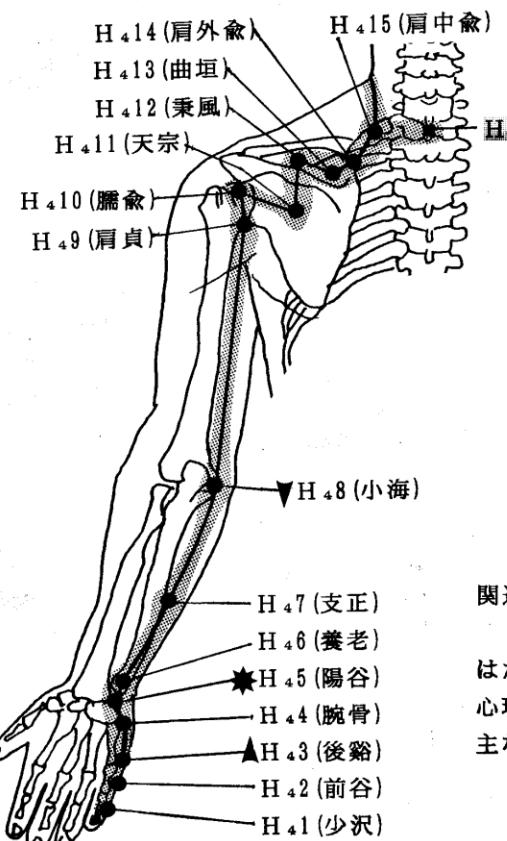
前腕尺側・腋窩

はたらき：精神活動、言語

心理作用：よろこぶ、楽しむ、あざける  
主な症状：不眠、情緒不安、心臓不安、  
腹が脹る、便通異常、口渴、  
手足の冷え、手掌の熱感など

# H4(小腸)良導絡

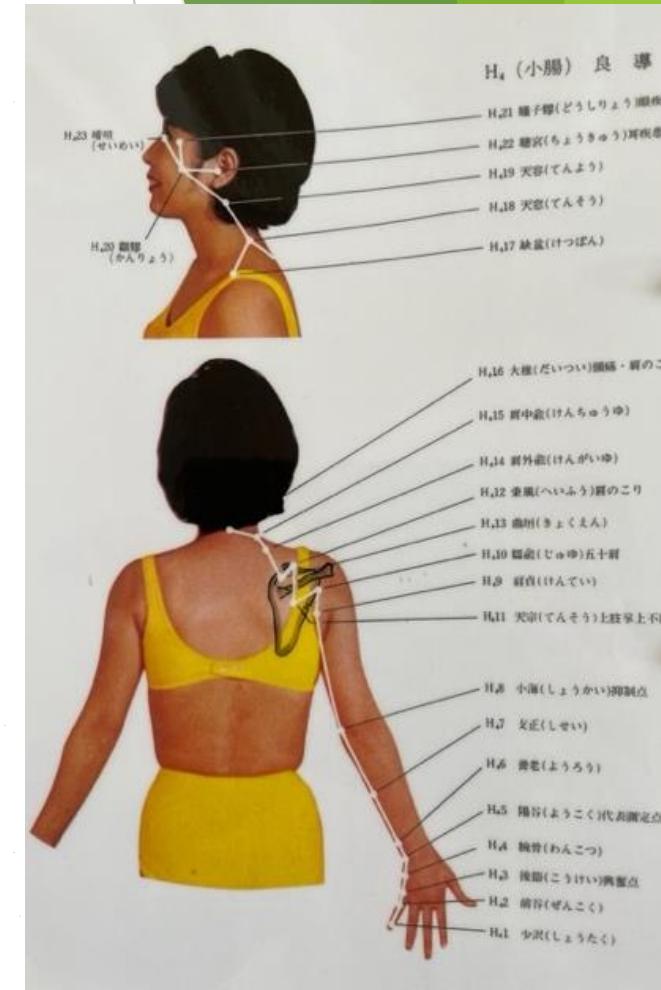
H 4 (小腸) 良導絡



関連部位：小腸・舌・目・頭・肘・腕・肩・頸・  
肩甲部

はたらき：消化・吸収

心理作用：よろこぶ、楽しむ、あざける  
主な症状：頭痛、後頸肩部の凝り、腹が脹る、  
下腹の異常、口や舌が荒れる、  
のどの異常など



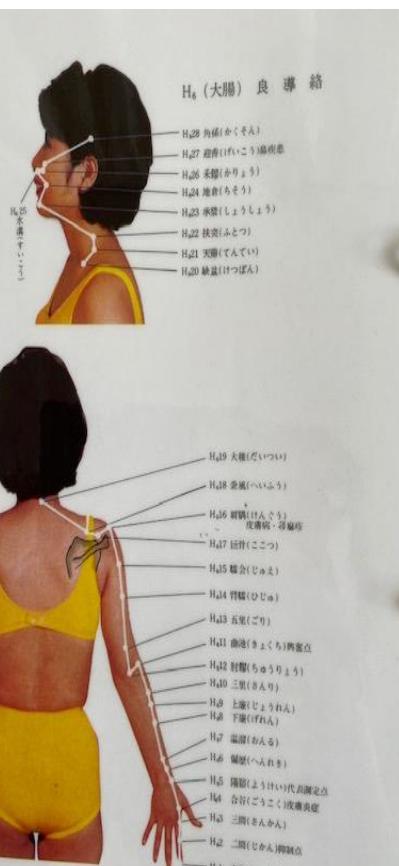
## H<sub>5</sub>(リンパ管)良導絡

関連部位：前腕背側・肩・側頸部・側頭部

はたらき：エネルギーの貯蔵と配分  
心理作用：ようこぶ、楽しむ、あざける

主な症状：腕の疲れ、側頸～肩にかけての異常、身体のふらつき、微熱、易疲労、耳鳴、難聴、のどの異常、排尿障害など

## H<sub>6</sub>(大腸)良導絡



新船橋はりきゅう整骨院  
佐藤 秀治

H<sub>6</sub>(大腸) 良導絡

H<sub>28</sub> 角孫(かくそん)  
H<sub>27</sub> 道承(どうじゆう)頭項部  
H<sub>26</sub> 扶髎(かりりょう)  
H<sub>24</sub> 離合(りあ)  
H<sub>23</sub> 承風(しゆうふう)  
H<sub>21</sub> 天鼎(てんてい)  
H<sub>20</sub> 緩筋(けんきん)

H<sub>19</sub> 大腸(だいちょう)  
H<sub>18</sub> 金闕(けんけつ)  
H<sub>16</sub> 頸項(けいこう)頭項部  
H<sub>17</sub> 道承(どうじゆう)  
H<sub>15</sub> 離合(りあ)  
H<sub>14</sub> 腹悶(おふくろ)  
H<sub>13</sub> 五里(ごり)  
H<sub>11</sub> 道承(どうじゆう)兩點  
H<sub>12</sub> 道承(どうじゆう)兩點  
H<sub>10</sub> 三里(さんり)  
H<sub>9</sub> 上廉(じょうれん)  
H<sub>8</sub> 下廉(げれん)  
H<sub>7</sub> 離合(りあ)  
H<sub>6</sub> 離合(りあ)  
H<sub>5</sub> 陽谿(ようけい)代表測定点  
H<sub>4</sub> 合谷(ごうごく)代表測定点  
H<sub>3</sub> 三間(さんかん)  
H<sub>2</sub> 二間(にかん)測定点  
H<sub>1</sub> 商陽(しょうよう)

H<sub>6</sub>(大腸) 良導絡

## HM20(大椎)

## H<sub>4</sub> (秉風)

## H<sub>12</sub> (秉風)

## H<sub>18</sub> (扶突)

## H<sub>17</sub> (天鼎)

## H<sub>16</sub> (巨骨)

## H<sub>15</sub> (肩髃)

## H<sub>13</sub> (膚會)

## H<sub>14</sub> (臂臑)

## H<sub>13</sub> (五里)

## H<sub>12</sub> (肘髎)

## H<sub>11</sub> (曲池)

## H<sub>10</sub> (三里)

## H<sub>9</sub> (上廉)

## H<sub>8</sub> (下廉)

## H<sub>7</sub> (溫溜)

## H<sub>6</sub> (偏歷)

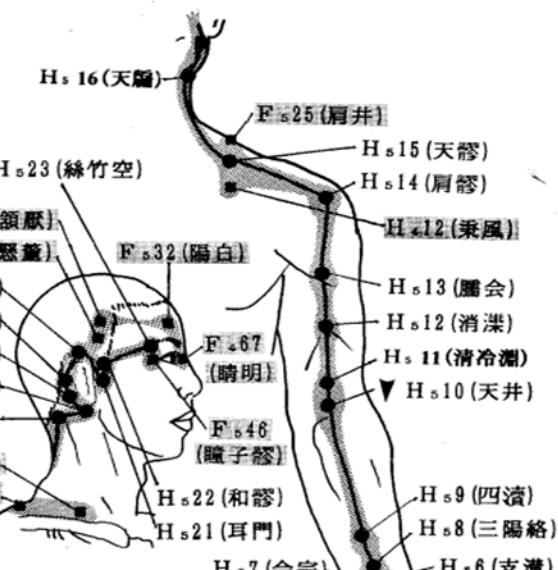
## H<sub>5</sub> (陽谿)

## H<sub>4</sub> (合谷)

## H<sub>3</sub> (三間)

## H<sub>2</sub> (二間)

## H<sub>1</sub> (商陽)

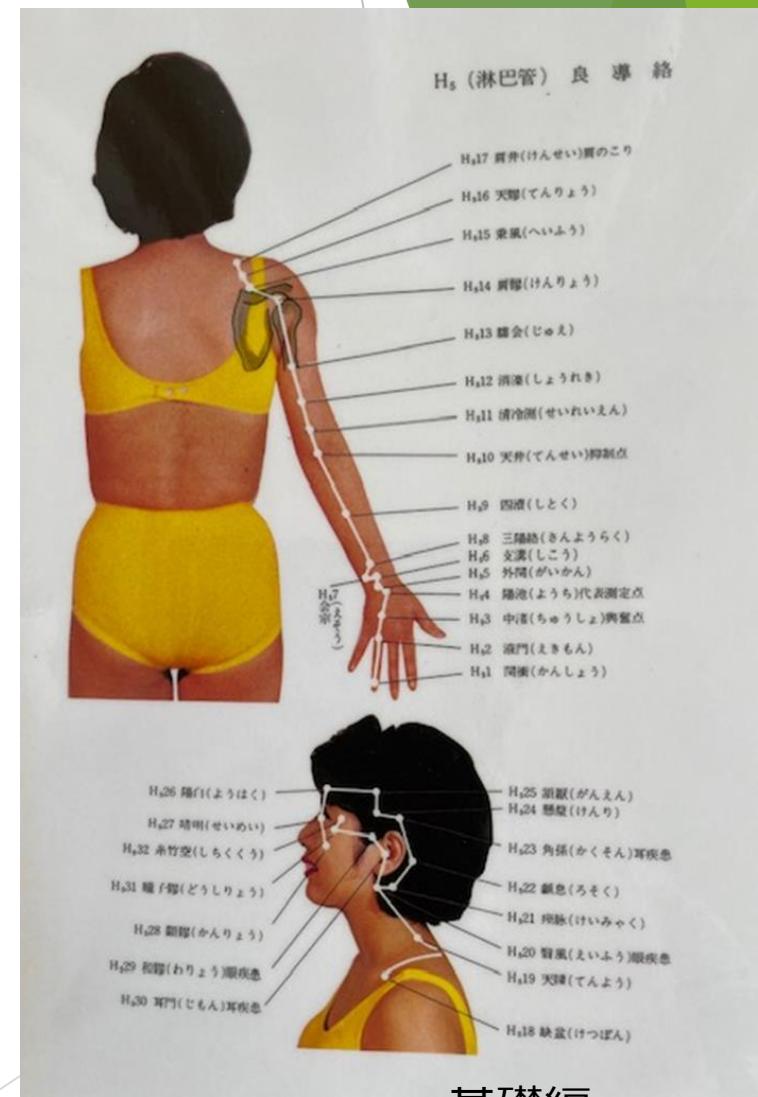


関連部位：大腸・顔面・のど・歯・皮膚・肺・前腕桡側・肩峰

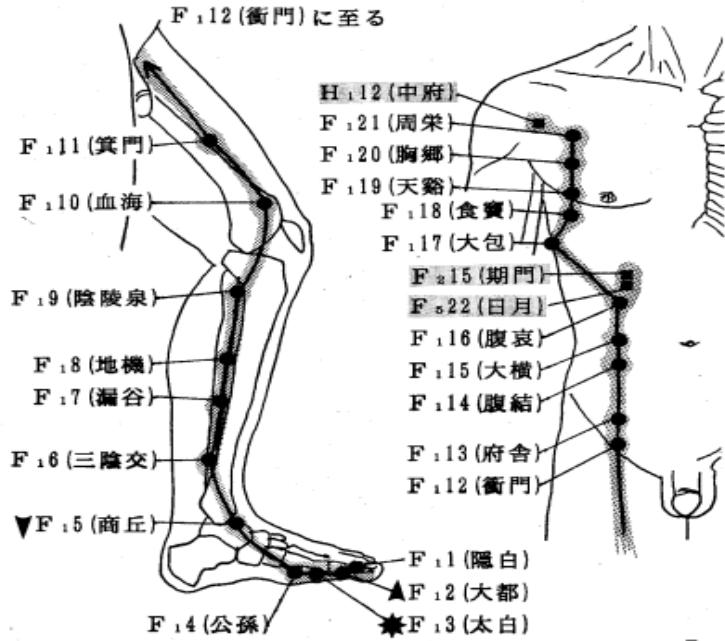
はたらき：排便、熱の产生、発汗  
心理作用：悲しむ、なげく、憂える、思い悩む

主な症状：肩凝り、便通異常、痔、腹鳴、歯痛・皮膚の異常、のどの異常など

## H5(リンパ管)良導絡

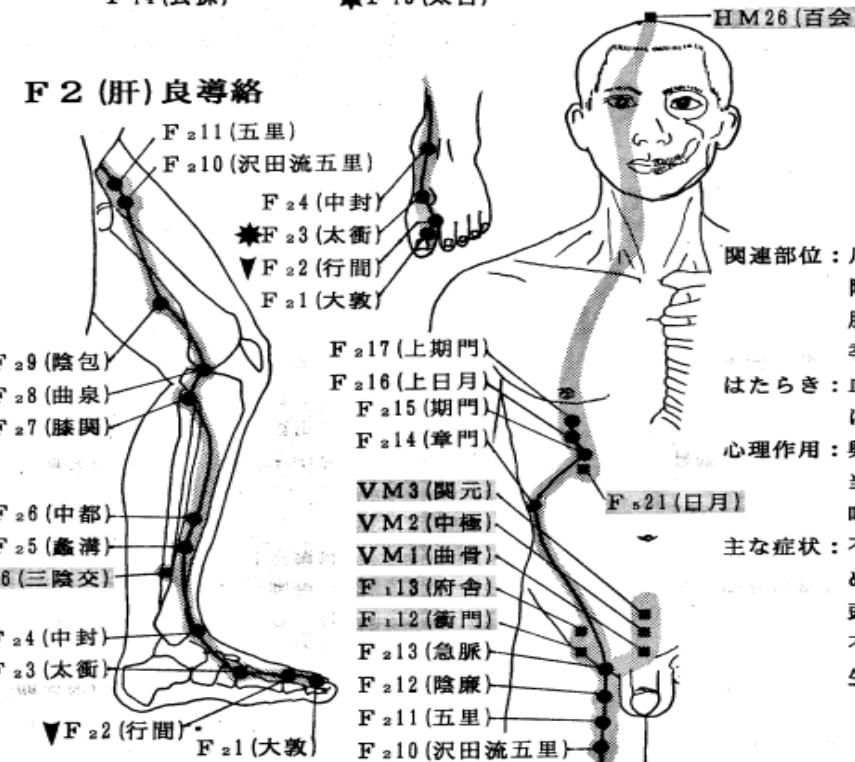


基礎編



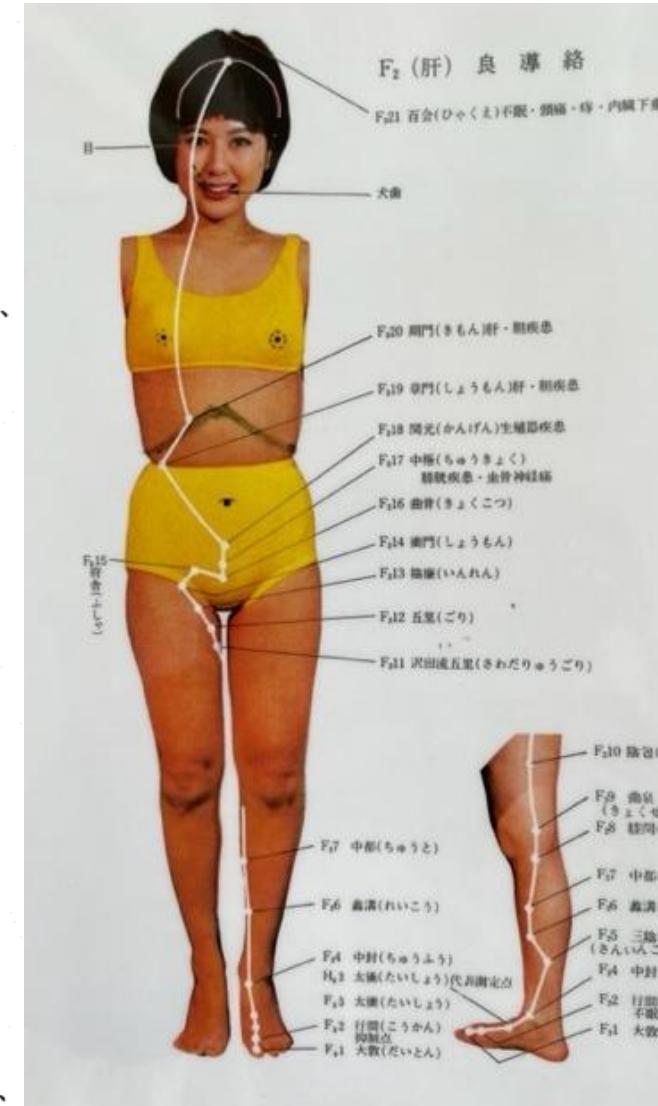
F 1 (脾・肺) 良導絡

関連部位：母趾・膝・脾臓・  
肺臓・胃・心窓部・  
肋間・口・眼瞼・  
鼻  
はたらき：消化・吸収、血液、  
皮膚、皮下脂肪  
心理作用：考える、願う、  
いくつしむ  
主な症状：手足が重い、頭痛、  
易疲労、口がまずい、  
消化不良、腹鳴など

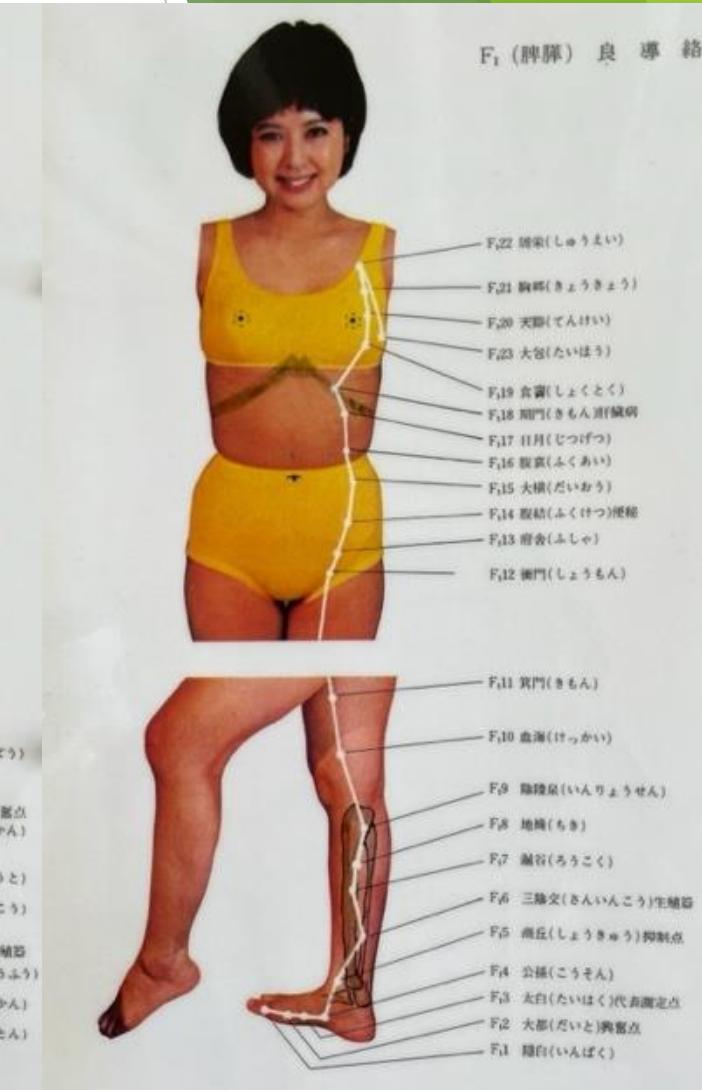


関連部位：爪・膝・内股・  
陰部・生殖器・  
肝臓・筋肉・  
季肋部・目  
はたらき：血液の調節、疫病  
に対する抵抗力  
心理作用：興奮、イライラ、  
当たり散らす、  
叱る  
主な症状：不眠、視力減退、  
めまい、耳鳴、  
頭痛、気力がない、  
不快、精力減退、  
生殖器疾患など

F2(肝) 良導絡



F1(脾) 良導絡



# F3(腎)良導絡

## F<sub>3</sub>(腎)良導絡

関連部位：骨・歯・髪・足蹠・生殖器

脾の傍ら・喉頭腎臓・副腎・

耳・目・

はたらき：人体のエネルギー源（精力）、

血圧、水分代謝

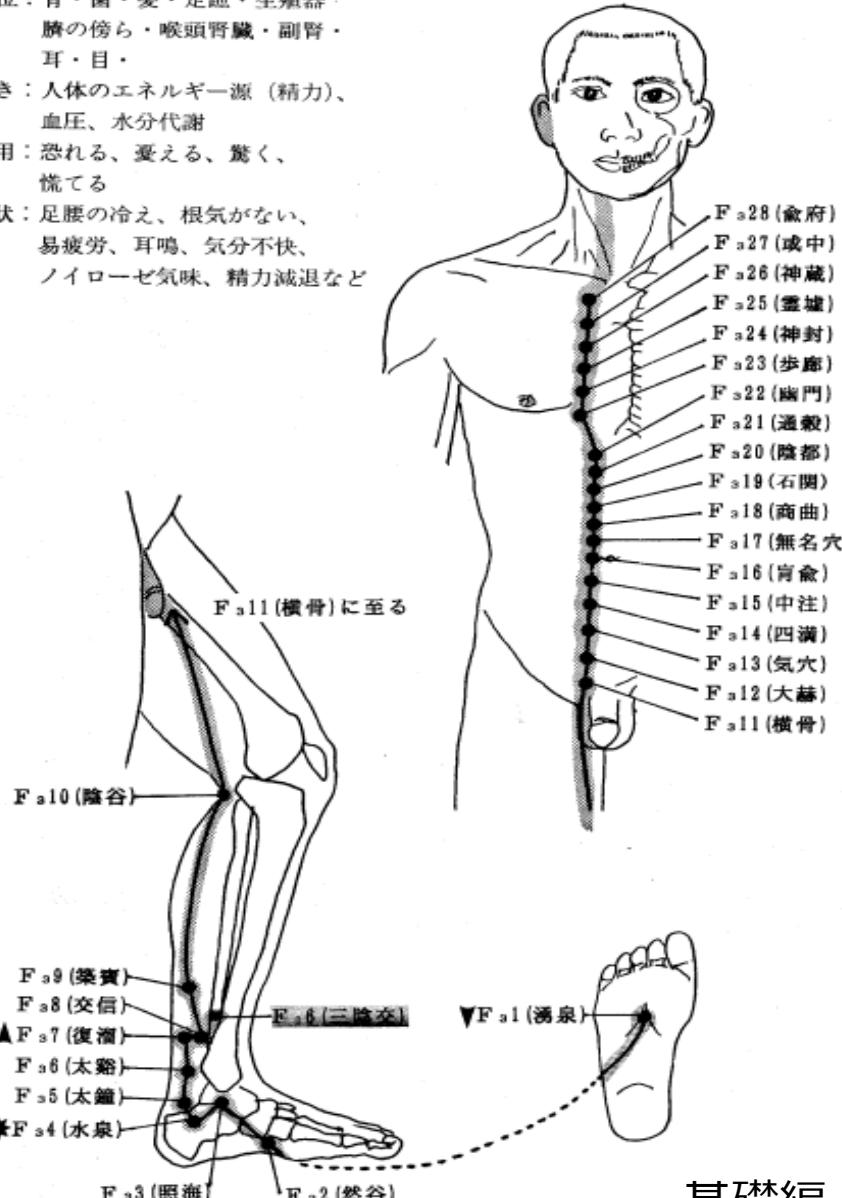
心理作用：恐れる、憂える、驚く、

慌てる

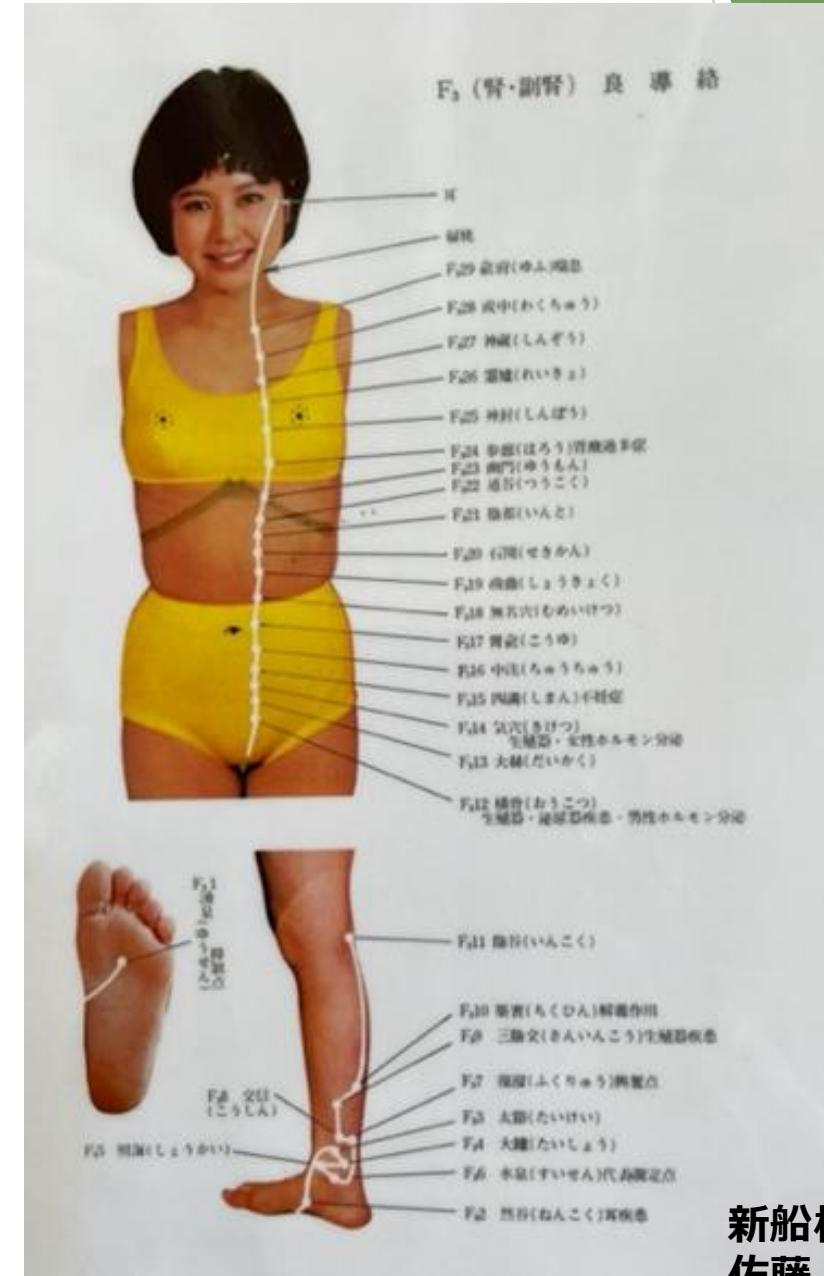
主な症状：足腰の冷え、根気がない、

易疲労、耳鳴、気分不快、

ノイローゼ気味、精力減退など



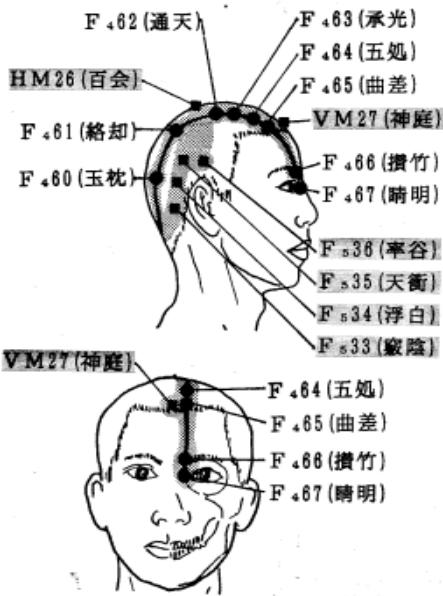
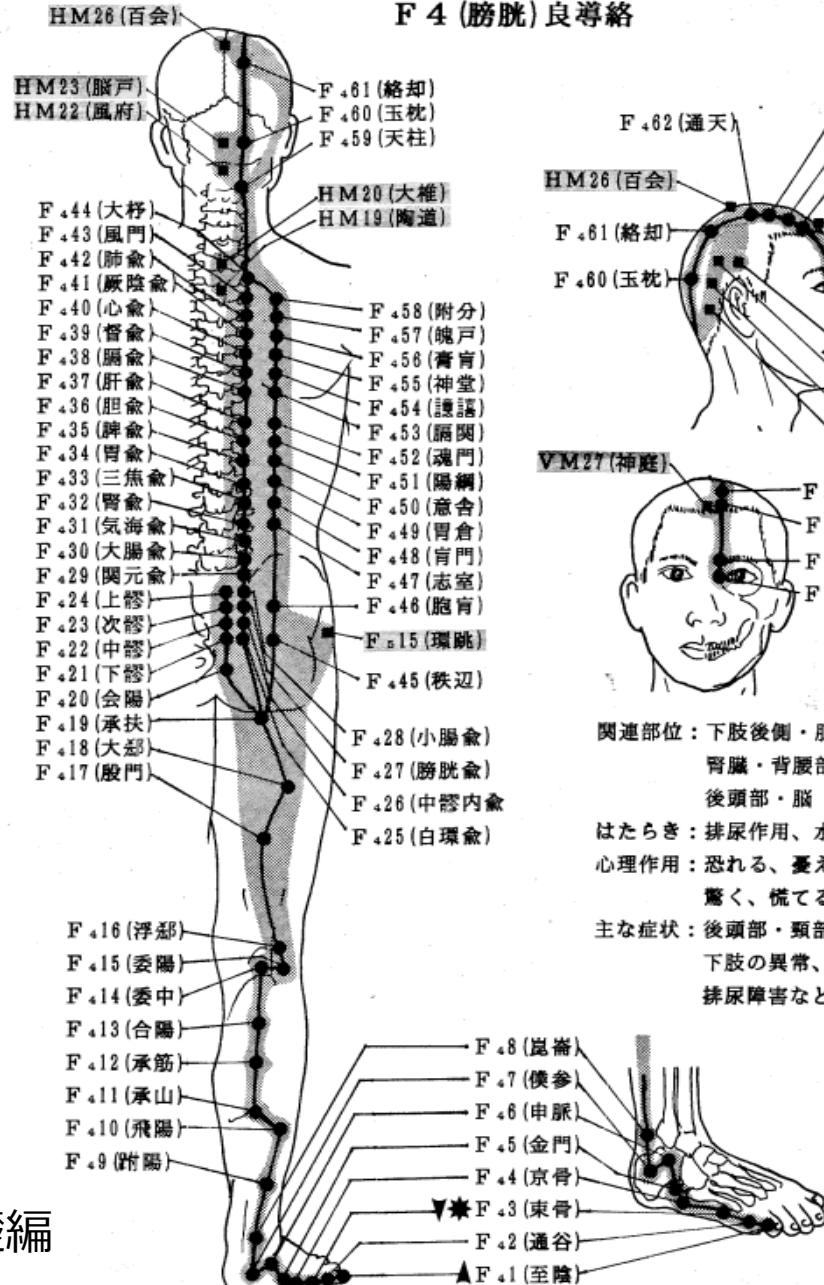
基礎編



新船橋はりきゅう整骨院  
佐藤 秀治

# F4(膀胱)良導絡

## F 4 (膀胱) 良導絡



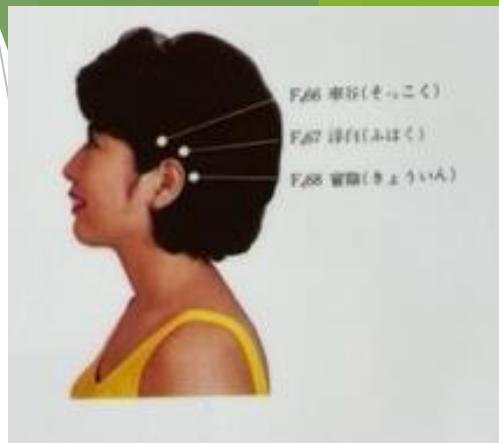
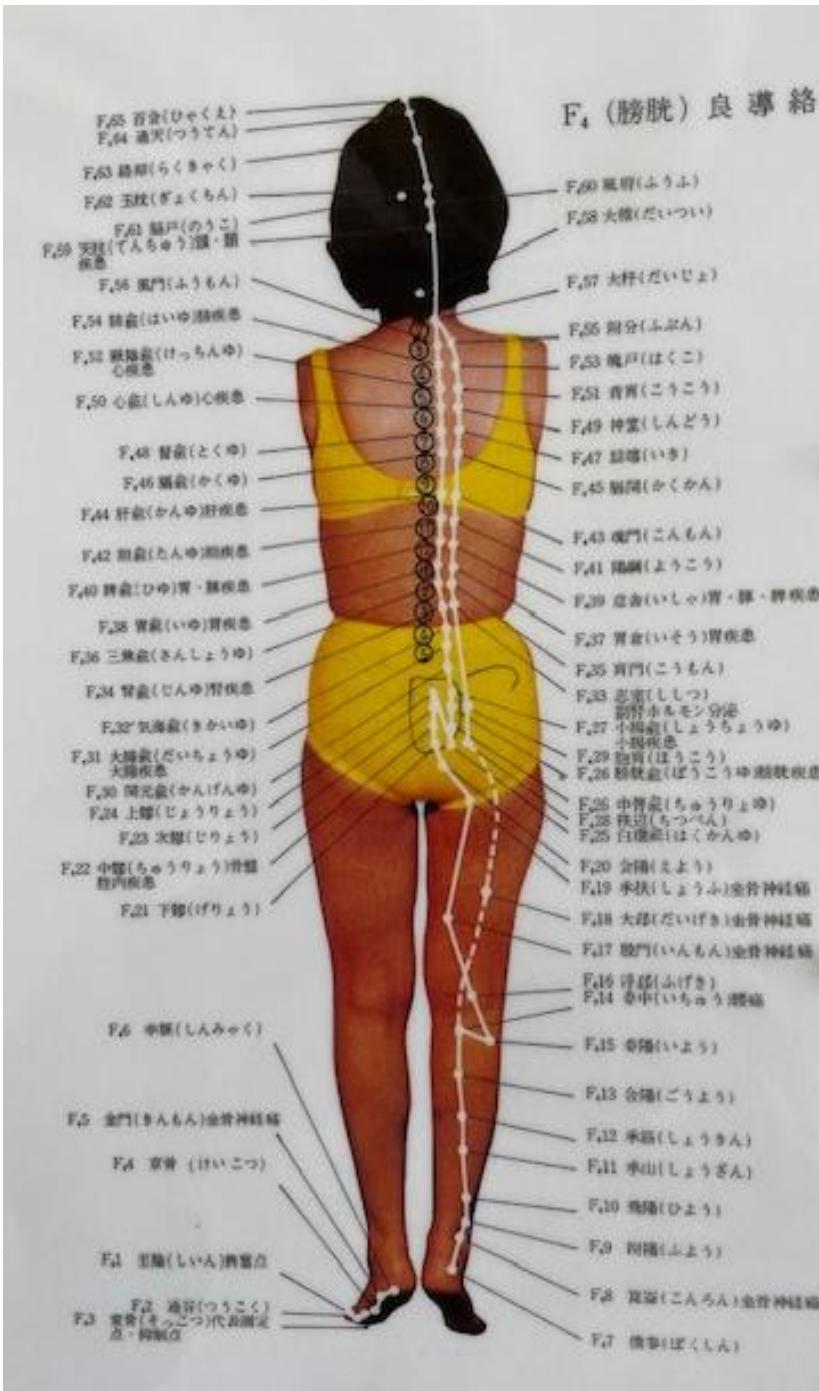
関連部位: 下肢後側・肛門・膀胱・腎臓・背腰部・頸部・後頭部・脳

はたらき: 排尿作用、水分代謝

心理作用: 恐れる、憂える、

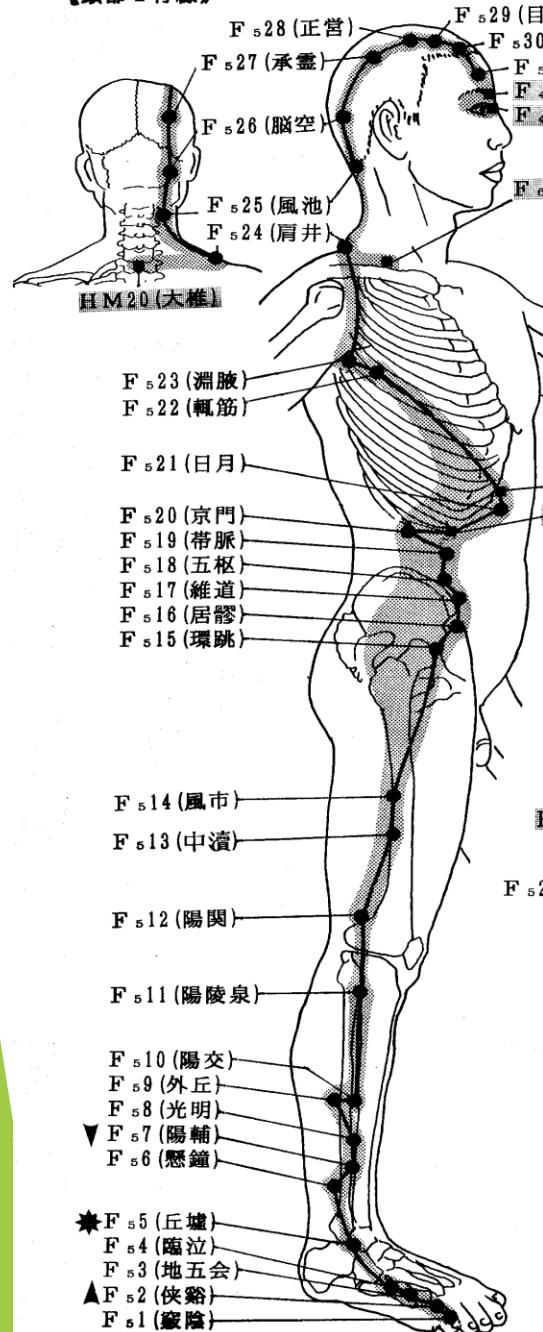
驚く、慌てる

主な症状: 後頭部・頸部・背腰部・下肢の異常、下腹が脹る、排尿障害など



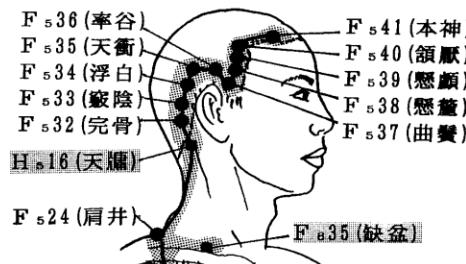
新船橋はりきゅう整骨院  
佐藤 秀治

《頭部1行線》

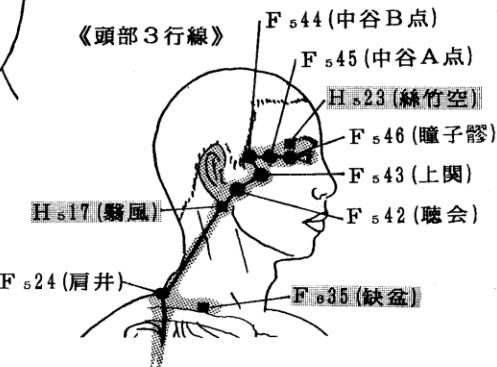


F5 (胆) 良導絡

《頭部2行線》



《頭部3行線》



関連部位：下肢外側・脇腹・胆囊・側頭部・耳・目

はたらき：疫病に対する抵抗力

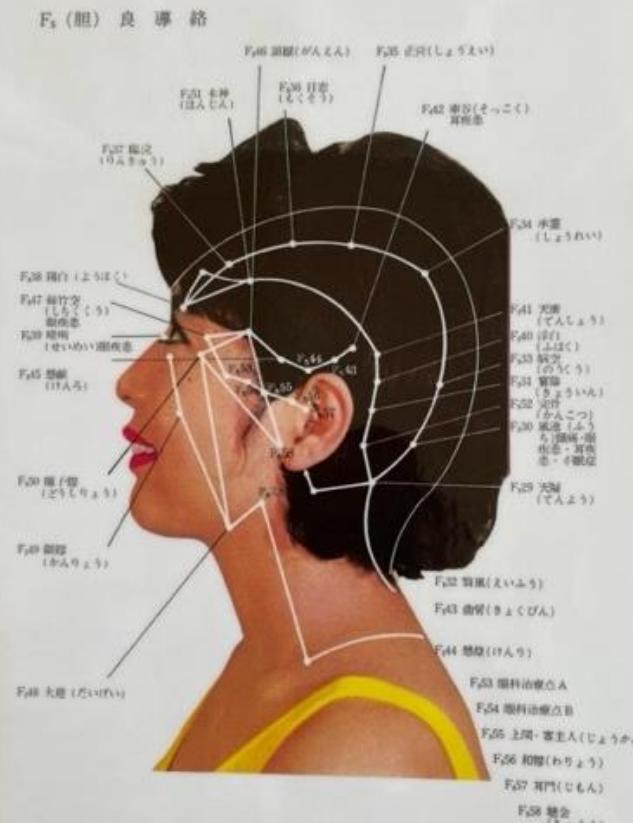
心理作用：決断力

主な症状：口が苦い、吐き気、めまい、耳鳴、難聴、側頭部痛、脇腹の痛み、血圧異常など



基礎編

# F5(胆)良導絡



新船橋はりきゅう整骨院  
佐藤 秀治

# F6(胃)良導絡

